設　　計　　書

工　種	農　林
工事番号	第 11 号

課長		担当		設計担当者　農地森林整備課　林業基盤担当 内　線　（　　） 印

年　度	令　和　5　年　度	作成年月日	令和６ 年　３ 月　６ 日
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事	工事概要	
		小出沢１号橋　橋長 L=12.44m　全幅員 W=4.4m	
施工位置	河辺岩見地内	上部工撤去工	１式
		橋台補修工	１式
設計金額			
財源区分	国　補　・　【県　補】　・　市　単		
施工期日	令和　６　年　３　月　３１　日　まで	主任監督員	（　　）
		工事監督員	（　　）

箇　所　図
岩見ダム
太平山谷
施工箇所(小出沢1号橋)
林道 小出沢線
河辺三内
河辺岩見
へそ公園

工 事 名：小出沢１号橋橋梁補修工事
施工箇所：河辺岩見地内

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

・下記の明示事項・条件及び内容のチェック印該当欄は、共通仕様書等に記載されている制約事項以外について明示するものである。
・明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生した場合は、監督員と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
・別途協議とは、設計・現場説明又は打合簿等により協議するものとする。

明示項目	明示事項	条件及び内容				
工程関係	□他工事との工程調整の必要あり	□調整項目	□資材等の流用	□仮設及び工事用道路等の調整	□建設機械等の調整	
			□施工箇所	□施工順序の調整	□別途協議	
			□その他（　　）			
	□施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	□制限する工種名（　　）				
		□施工時期及び施工時間（　　）				
		□施工方法（　　）				
	□他機関との協議が未完了	□協議が必要な機関名（　　）				
		□協議内容（　　）				
		□協議完了見込時期（　　）				
	□占用物件の確認の必要あり	□占用物件名	□電気	□電話	□上水道	□下水道
			□ガス	□その他（　　）		
		□物件の確認	□確認済	□未確認		
	☒その他（工期の変更について）	☒その他（工期の完成は令和６年３月31日としているが、国の繰越承認後に令和６年11月29日に変更する予定である）				
用地関係	□用地および補償物件の未処理箇所あり	□未処理箇所	□別添図	□No.　　～	□別途協議	
		□完了見込時期	□令和　　年　　月　　旬頃	□別途協議		
	□仮設ヤードあり	□仮設ヤード	□官有地	□民有地	□その他（　　）	□別途協議
		□仮設ヤード使用期間（令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日）				
		□現場からの運搬距離（Ｌ＝　　ｋｍ）				
		□使用条件・復旧方法（　　）				
	□その他（　　）	□その他（　　）				
工事用道路関係	□一般道路（搬入路）の使用制限あり	□進入（搬入）経路	□別添図等	□その他（　　）	□別途協議	
		□使用期間の制限内容　（　　）				
	□仮設道路の設置条件あり	□使用中及び使用後の措置	□別添図等	□その他（　　）	□別途協議	
		□用地及び構造	□別添図等	□その他（　　）	□別途協議	
		□安全施設	□別添図等	□その他（　　）	□別途協議	
	□その他（）	□その他（）				

明示項目	明示事項	条件及び内容	
公害対策関係	☒施工方法の制限あり	☒制限項目	□騒音　□振動　□水質　□粉じん　☒排出ガス　□その他（　　）
		□施工方法	□指定工法（　　）　□別途協議　□その他（　　）
		□施工時期	□令和　　年　　月　　旬頃　□別途協議
	□事業損失防止に関する調査あり	□調査項目	□騒音測定　□振動測定　□水質調査　□近接家屋の事前・事後調査 □地盤沈下測定　□地下水位等の測定 □その他（　　）
		□調査方法	□別添資料　□別途協議　□その他（　　）
		□調査費	□計上あり　□別途協議　□その他（　　）
	□その他（　　）	□その他（　　）	
安全対策関係	□交通安全施設等の指定あり	□交通安全施設等の配置	□別添図面　□別途協議　□その他（　　）
		□交通誘導員の配置	□別添図面　□別途協議 □配置員種別（　　） □配置人員数（昼間）（　　人/日・　　日・計　　人） □昼間勤務交代要員あり □配置人員数（夜間）（　　人/日・　　日・計　　人） □夜間勤務交代要員あり □その他（　　）
	□近接公共施設等に対する制限	□施工時間の制限（　　）	
		□工法の制限あり ・近接公共施設等の配置（□鉄道　□電気　□電話　□水道　□ガス　□その他（　　）） ・制限を受ける工種　（　　） ・制限内容　（　　）	
	□土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	□安全防護施設等の配置	□別添図面　□別途協議　□その他（　　）
		□保安要員の配置	□別添図面　□別途協議　□その他（　　） □配置員種別（　　） □配置人員数（　　人/日・　　日・計　　人）
	□有毒ガス・酸素欠乏等の対策	□換気設備等の配置	□別添図面　□別途協議　□その他（　　）
		□危険防止対策の工法	□別添図面　□別途協議　□その他（　　）
	□イメージアップ経費適用工事	□イメージアップの内容（　　）	
	□その他（　　）	□その他（　　）	
排水工関係	□濁水、湧水等の排水に制限あり	□項目及び基準値（　　）	
	□水質調査等の必要あり	□調査項目（　　）	
	□その他（　　）	□その他（　　）	

明　示　項　目	明　　示　　事　　項	条　　件　　及　　び　　内　　容	
建設発生土・建設廃棄物関係	□建設発生土 ※投棄処分および再生処分が選択されている場合において、当該処分（受入）地へ運搬しない場合、また、発生土の性状を十分見極め再利用可能な場合は、監督員と別途協議すること。	□処分方法	□投棄処分　□他工事利用　□指定処分　□自由処分 □再生処分　□その他（　　）
		□処分（受入）地	□別添図等　□別途協議　□その他（　　） □場所（　　）
		□処分地の処理条件	□押土整地　□その他（　　）
		□処理（受入）費等計上あり	□処理（受入）費　□押土整地　□その他（　　）
		□現場からの運搬距離（L＝　　km）	
	☒ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 ※再生（中間）処分場および最終処分場が選択されている場合において、当該処分場へ運搬しない場合は、監督員と別途協議すること。	☒処分地	☒再生（中間）処分場（河辺大張野）　□最終処分場（　　） □別添図書　□別途協議 □その他（　　）
		☒処理（処分）費計上あり	☒処理（処分）費　□その他（　　）
		☒現場からの運搬距離（L＝11.1km）	
	□ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 ※再生（中間）処分場および最終処分場が選択されている場合において、当該処分場へ運搬しない場合は、監督員と別途協議すること。	□処分地	□再生（中間）処分場（　　）　□最終処分場（　　） □別添図書　□別途協議 □その他（　　）
		□処理（処分）費計上あり	□処理（処分）費　□その他（　　）
		□現場からの運搬距離（L＝　　km）	
	□木材 ※再生（中間）処分場および最終処分場が選択されている場合において、当該処分場へ運搬しない場合は、監督員と別途協議すること。	□処分地	□再生（中間）処分場（　　）　□最終処分場（　　） □別添図書　□別途協議 □その他（　　）
		□処理（処分）費計上あり	□処理（処分）費　□その他（　　）
		□現場からの運搬距離（L＝　　km）	
	□汚泥 ※再生（中間）処分場および最終処分場が選択されている場合において、当該処分場へ運搬しない場合は、監督員と別途協議すること。	□処分地	□再生（中間）処分場（　　）　□最終処分場（　　） □別添図書　□別途協議 □その他（　　）
		□処理（処分）費計上あり	□処理（処分）費　□その他（　　）
		□現場からの運搬距離（L＝　　km）	
	□その他（　　）	□処分地	□再生（中間）処分場（　　）　□最終処分場（　　） □別添図書　□別途協議　□その他（　　）
		□処理（処分）費計上あり	□処理（処分）費　□その他（　　）
		□現場からの運搬距離（L＝　　km）	
		□その他（　　）	

明　示　項　目	明　　示　　事　　項	条　　件　　及　　び　　内　　容
仮設備関係	□仮設備の設置条件あり	□使用期間（　　）
		□借地条件（　　）
		□転用あり（　　）
		□兼用あり（　　）
		□引継あり（　　）
	□仮設物の構造及び施工方法の指定	□構造及び設計条件　□別添図等　□その他（　　）　□別途協議
		□施工方法（　　）
	☒その他（足場）	☒その他　（足場設置）
薬液注入関係	□薬液注入工法等の指定あり	□工法区分（　　）
		□材料種類（　　）
		□施工範囲（　　）
		□削孔関係（　　）
		□注入量　（　　）
		□その他　（　　）
	□提出書類あり	□工法関係（　　）
		□材料関係（　　）
	□確認事項あり	□注入量　□注入の管理　□注入の効果　□その他（　　）
	□その他（　　）	□その他　（　　）
地盤改良関係	□工法等の指定あり	□工法区分（　　）
		□材料種類（　　）
		□施工範囲（　　）
		□その他　（　　）
	□提出書類あり	□工法関係（　　）
		□材料関係（　　）
		□試験関係（　　）
	□確認事項あり	□配合　□現場 CBR 値　□その他（　　）
	□その他（　　）	□その他（　　）
工事支障物件関係	□工事支障物件あり	□電気　□移設時期（令和　年　月　日頃　□別途協議）
		□電話　□移設時期（令和　年　月　日頃　□別途協議）
		□上水道　□移設時期（令和　年　月　日頃　□別途協議）
		□下水道　□移設時期（令和　年　月　日頃　□別途協議）
		□ガス　□移設時期（令和　年　月　日頃　□別途協議）
		□有線　□移設時期（令和　年　月　日頃　□別途協議）
		□その他（　　）　□移設時期（令和　年　月　日頃　□別途協議）

明　示　項　目	明　　示　　事　　項	条　　件　　及　　び　　内　　容	
再生材使用関係	☒再生材使用の指定あり	☒再生材の種類	□再生アスコン　☒再生路盤材　□再生クラッシャーラン □その他（　　）
		☒再生材が使用できない場合の措置	□新材に変更　☒別途協議 □その他（　　）
	☒再生ｱｽｺﾝへの溶融スラグの混入	☒溶融スラグ混入の有無	☒有　□無　□その他（　　）
		☒溶融スラグ混入合材の種類	☒再生密粒度アスコン(13)　□再生密粒度アスコン(20) □再生粗粒度アスコン(13)　□再生粗粒度アスコン(20) □その他（　　）
		☒溶融スラグ混入が使用できない場合	□新材に変更　□その他（　　） ☒別途協議
	☒再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝの規格	☒ＲＣ－４０ □ＲＣ－８０	☒粒度範囲は、舗装再生便覧の「再生クラッシャーランの望ましい粒度範囲」の規格に適合するものとする。
			☒再生クラッシャーランの粒度について、確認できる試験結果または品質を証明する資料を、使用する前に監督員に提出すること。
	□秋田県認定リサイクル製品の使用	□秋田県認定リサイクル製品を使用する 種類：□歩車道境界ブロック（　　） □鉄筋コンクリートU型側溝（　　） □鉄筋コンクリートU型側溝蓋（　　） □自由勾配側溝（　　） □自由勾配側溝蓋（　　） □鉄筋コンクリートベンチフリューム（　　） □鉄筋コンクリート排水フリューム（　　）	
	※溶融スラグ入りプレキャストコンクリート製品またはフライアッシュ入りプレキャストコンクリート製品	□秋田県認定リサイクル製品を使用するように努める	□種類（上記以外のプレキャスト工場製品）
		□秋田県認定リサイクル製品が使用できない場合	□別途協議 □その他（　　）
	□その他（　　）	□その他（　　）	
適用条件	☒	☒秋田市土木工事共通仕様書（令和５年 12 月１日以降適用）を適用 □上記仕様書の部分改訂の内容も含む（最新改訂 令和　　年　　月　　日） □土木構造物設計マニュアル(案)　　編を適用 □その他（　　）	
ＣＯＲＩＮＳ登録	☒　　※請負代金額が 500 万円以上の場合	☒秋田市土木工事共通仕様書に基づき、工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）の登録を行うこと	
再生資源利用計画書	☒	☒ＣＯＢＲＩＳシステムを用いて再生資源利用（促進）計画書（実施書）を作成し、契約締結後１４日以内に監督員へ提出すること。また、受注者は、再生資源利用（促進）計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げること。	

明　示　項　目	明　　示　　事　　項	条　　件　　及　　び　　内　　容
現場代理人	☒	☒兼務を認める（常駐義務緩和の要件を満たす場合） □兼務を認めない（契約金額が減額になった場合においても、現場代理人の兼務は認めません）
監理(主任)技術者	□ ※請負代金額が 4,000 万円以上の場合	□請負契約の締結の翌日から令和　　年　　月　　日までは監理(主任)技術者の専任を要しない。 □請負契約の締結後、監督員と協議して定めた現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入、仮設工事等が開始されるまでの間)については、監理(主任)技術者の工事現場への専任を要しない。 □工事完成後、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者へ通知した日以降、事務手続きおよび後片付け等のみが残っている期間については、監理(主任)技術者の工事現場への専任を要しない。
担い手確保関係	□週休二日制モデル工事 （受注者希望型）	□本工事は、秋田市建設部週休二日制モデル工事の試行対象案件である。 □受注者は、受注後速やかに当該モデル工事の希望の有無について、工事打合簿により、監督員と協議するものとする。 □協議により試行する場合は、「秋田市建設部週休二日制モデル工事試行実施要領」に基づき、実施するものとする。
電子納品	☒工事完成図書	☒工事完成図書は電子納品とし、電子データは、「工事完成図書の電子納品等要領」に基づいて作成すること。電子媒体の提出部数は１部とする。なお、要領に記載のない項目の電子化および紙媒体による提出、または、電子納品によりがたい場合については、監督員と協議すること。
	☒工事検査	☒検査に必要な電子機器類の準備および検査時の機器操作は受注者が実施すること。
	□その他（　　）	□その他（　　）
その他	□工事用機材の保管及び仮置きの必要あり	□保管場所（　　）　□期間（　　）　□その他（　　）
	□現場発生品あり	□品名（　　）　□数量（　　） □保管場所（　　）　□その他（　　）
	□支給品あり	□品名（　　）　□数量（　　）　□引渡場所（　　） □時期（令和　　年　　月　　旬頃）　□その他（　　）
	□盛土材等工事間流用あり	□運搬方法　□受注者で運搬　□受注者以外で運搬　□別途協議　□その他（　　） □引渡場所　□別添図等　□別途協議　□その他（　　） □数量（　　） □運搬距離（Ｌ＝　　ｋｍ）
	☒法定外の労災保険の付保	☒本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。その保険証券等の写しを発注者に提出すること。
	☒その他（　　）	☒その他（労務単価は、秋田県実施単価表（R6.3.1 以降適用）(旧労務単価)に基づき積算しているが、契約後、秋田県実施単価表(R6.3.1 以降適用　第１回改定)の新労務単価に設計変更するものとする。)

＝補足事項＝

・共通仕様書１－１－５１「工事測量」に基づいた測量結果について、契約締結後、３０日以内に監督員へ提出すること。また、その測量結果に基づき、現場と設計図書を照査し、数値等に差異が生じた場合についても、同期間内に監督員と協議することとする。その協議内容について必要があれば、設計変更の対象とする。

誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和５年度
林道施設長寿命化事業

小出沢1号橋橋梁補修工事

金抜き設計書

（当初）

秋田市

(1/ 12)

事業名	林道施設長寿命化事業
工事名	小出沢1号橋橋梁補修工事

項　目　名	内　　容
公所名	秋田市
事業名	林道施設長寿命化事業
地区名	
工事名	小出沢1号橋橋梁補修工事
施工場所	秋田市河辺岩見地内
管理番号	
工事区分	
積算区分	当初積算
地域区分	
地区区分	秋田A（秋田）
工期	
積算体系年月	令和６年３月
単価期適用年月	令和６年３月－Ａ
歩掛期適用年番号	令和５年９９号－Ａ
電力会社名	

事業名	林道施設長寿命化事業
工事名	小出沢1号橋橋梁補修工事

番号	項　目　名	規　　格	数　量	単位	金　額	備　考
	請負工事費					
	・工事価格					
	・消費税相当額（１０％）					
	工事内容					

事業名	林道施設長寿命化事業
工事名	小出沢1号橋橋梁補修工事

項　目　名	内　　容
工事名	
工事区分	
積算区分	
積算体系区分	
工種区分	橋梁保全工事
工種体系区分	
工事工種体系年番号	
契約保証費	
前払金支出割合	35%を超え40%以下
電力区分	低圧・官給・１年未満
冬期補正	なし
豪雪補正	１０％
亜熱帯補正	なし
冬期対象期間補正	0.00%
週休２日補正	補正なし
熱中症対策補正（現場管理費）	0.00%
現場環境改善費の計上	しない
施工地域区分補正	補正なし

事業名	林道施設長寿命化事業
工事名	小出沢1号橋橋梁補修工事

項　目　名	数　量	単位	金　額	備　考
1 工事価格	1.000	式		
2 ・工事原価	1.000	式		
3 ・・直接工事費	1.000	式		
4 ・・・直接工事費(諸経費対象)	1.000	式		
5 ・・間接工事費	1.000	式		
6 ・・・共通仮設費	1.000	式		
7 ・・・・共通仮設費（率計上）				
		%		
8 ・・・・運搬費	1.000	式		
9 ・・・・技術管理費	1.000	式		
10 ・・・現場管理費				
		%		
11 ・一般管理費等				
		%		
12 ・一括計上価格	1.000	式		
13 処分費等（直接工事費の内数）	1.000	式		
14 純工事費	1.000	式		

事業名	林道施設長寿命化事業
工事名	小出沢1号橋橋梁補修工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
直接工事費(諸経費対象)					
・林道改良(橋梁改良)	1.000	式			
・・上部工撤去工	1.000	式			
・・・ 床版撤去工	1.000	式			1 式当たり
SPA351 作業土工(床掘工) 山積0.8m3(平積0.6m3),砂・砂質土、粘性土、礫質土,障害なし,土留なし	24.000	m3			歩A・単A S単　7号
SPX012 SP 床掘り 森林 土砂,現場制約あり,-,-	12.000	m3			歩A・単A S単　19号
SPX003 SP 整地 森林 敷均し(ﾙｰｽﾞ),標準(10,000m3未満),無し	36.000	m3			歩A・単A S単　16号
S02721 【構造物取壊し】 無筋,制約無,機械,昼間施工,する	5.200	m3			歩A・単A S単　1号
S02721 【構造物取壊し】 無筋,制約無,人力,昼間施工	2.600	m3			歩A・単A S単　2号
SXX122 SP 殻運搬 森林 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,14.4km以下	7.800	m3			歩A・単A S単　35号
SQ2123 建設副産物処理料金 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	18.300	ton			歩A・単A S単　25号
SXX092 SP コルゲートパイプ 森林 撤去,ﾗｯﾌﾟ型,3,500mmを超え4,500mm以下	13.800	m			歩A・単A S単　33号
SXJ003 運搬費（仮設材） 40kmまで,12m以内,片道計上,計上する	2.370	ton			歩A・単A S単　31号
合　計					
・・・ 主桁撤去工	1.000	式			1 式当たり
P96001 桁1次及び2次切断・撤去 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ25t吊,無し,標準	9.350	ton			歩A・単A
P96011 現場発生品及び支給品運搬 ｸﾚｰﾝ装置付4～4.5t積,35.0km以下,2.6t超2.95t以下	4.000	回			歩A・単A
合　計					
・・・ 防護柵撤去	1.000	式			1 式当たり
SQ8060 ガードレール設置・撤去工(橋梁用) Gr-B-2B,撤去,0	27.600	m			歩A・単A S単　26号
SXJ003 運搬費（仮設材） 40kmまで,12m以内,片道計上,計上する	0.538	ton			歩A・単A S単　31号
合　計					
・・橋台補修工	1.000	式			
・・・ 断面修復工	1.000	式			1 式当たり
SPC503 構造物補修工(断面修復工(左官工法)) 鉄筋ケレン・防錆処理を含まない,0.046m3	1.000	個			歩A・単A S単　9号
SPX008 SP 人力積込 森林 ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	0.050	m3			歩A・単A S単　18号
SXX122 SP 殻運搬 森林 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,14.4km以下	0.050	m3			歩A・単A S単　35号
SQ2123 建設副産物処理料金 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	0.120	ton			歩A・単A S単　25号
合　計					
・・・ A1橋台パラペット及び橋座嵩上げ	1.000	式			1 式当たり
S03701 【鉄筋工】 SD345,D25,一般構造物,10t未満,－,無し,一般構造物（切梁無し）,10%未満	0.039	ton			歩A・単A S単　3号
S03701 【鉄筋工】 SD345,D16,一般構造物,10t未満,－,無し,一般構造物（切梁無し）,10%未満	0.384	ton			歩A・単A S単　4号
S03701 【鉄筋工】 SD345,D13,一般構造物,10t未満,－,無し,一般構造物（切梁無し）,10%未満	0.051	ton			歩A・単A S単　5号
P96003 注入材 エポキシ系	10.600	kg			歩A・単A
P96005 コンクリート削孔(さく岩機) 300mm以上400mm以下	13.000	孔			歩A・単A
SPX112 SP コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 森林 200mm以上400mm以下,	58.000	孔			歩A・単A S単　20号
SPX284 SP アンカー筋挿入 森林	71.000	本			歩A・単A S単　22号
SPX283 SP チッピング（厚２ｃm以下） 森林	10.000	m²			歩A・単A S単　21号
SXX125 SP 型枠 森林 一般型枠,鉄筋･無筋構造物	16.600	m²			歩A・単A S単　38号

事業名	林道施設長寿命化事業
工事名	小出沢1号橋橋梁補修工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
SXX123 SP コンクリート 森林 無筋・鉄筋構造物,ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設,24-8-25(20)(高炉),10m3以上100m3未	5.900	m3			歩A・単A S単 36号
満,特殊養生(練炭､ｼﾞｪｯﾄﾋｰﾀ),延長無し,-,-					
SXX102 SP 目地板 森林 瀝青質目地板 t=10mm	0.600	m²			歩A・単A S単 34号
S02721 【構造物取壊し】 無筋,制約無,人力,昼間施工	0.080	m3			歩A・単A S単 2号
SXX122 SP 殻運搬 森林 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,14.4km以下	0.080	m3			歩A・単A S単 35号
SQ2123 建設副産物処理料金 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	0.190	ton			歩A・単A S単 25号
合　計					
・・・ A2橋台パラペット及び橋座嵩上げ	1.000	式			1 式当たり
S03701 【鉄筋工】 SD345,D25,一般構造物,10t未満,－,無し,一般構造物（切梁無し）,10%未満	0.039	ton			歩A・単A S単 3号
S03701 【鉄筋工】 SD345,D16,一般構造物,10t未満,－,無し,一般構造物（切梁無し）,10%未満	0.384	ton			歩A・単A S単 4号
S03701 【鉄筋工】 SD345,D13,一般構造物,10t未満,－,無し,一般構造物（切梁無し）,10%未満	0.051	ton			歩A・単A S単 5号
P96003 注入材 エポキシ系	10.600	kg			歩A・単A
P96005 コンクリート削孔(さく岩機) 300mm以上400mm以下	13.000	孔			歩A・単A
SPX112 SP コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 森林 200mm以上400mm以下,	58.000	孔			歩A・単A S単 20号
SPX284 SP アンカー筋挿入 森林	71.000	本			歩A・単A S単 22号
SPX283 SP チッピング（厚２ｃm以下） 森林	10.000	m²			歩A・単A S単 21号
SXX125 SP 型枠 森林 一般型枠,鉄筋・無筋構造物	16.600	m²			歩A・単A S単 38号
SXX123 SP コンクリート 森林 無筋・鉄筋構造物,ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設,24-8-25(20)(高炉),10m3以上100m3未	5.900	m3			歩A・単A S単 36号
満,特殊養生(練炭､ｼﾞｪｯﾄﾋｰﾀ),延長無し,-,-					
SXX102 SP 目地板 森林 瀝青質目地板 t=10mm	0.600	m²			歩A・単A S単 34号
S02721 【構造物取壊し】 無筋,制約無,人力,昼間施工	0.080	m3			歩A・単A S単 2号
SXX122 SP 殻運搬 森林 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,14.4km以下	0.080	m3			歩A・単A S単 35号
SQ2123 建設副産物処理料金 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	0.190	ton			歩A・単A S単 25号
合　計					
・・・ 表面被覆工	1.000	式			1 式当たり
P96006 下地処理 高所作業車無,昼間	27.600	m²			歩A・単A
P96007 プライマー塗布(CC-A塗装,CC-B塗装) 高所作業車無,昼間	27.600	m²			歩A・単A
P96008 下地調整(CC-A塗装,CC-B塗装) 高所作業車無,昼間	27.600	m²			歩A・単A
P96009 塗装(中塗り)(CC-B塗装) 高所作業車無,昼間	27.600	m²			歩A・単A
P96010 塗装(上塗り)(CC-B塗装) 高所作業車無,昼間	27.600	m²			歩A・単A
合　計					
・・舗装工	1.000	式			
・・・ 舗装工	1.000	式			1 式当たり
SPA351 作業土工(床掘工) 山積0.8m3(平積0.6m3),砂・砂質土、粘性土、礫質土,障害なし,土留なし	25.000	m3			歩A・単A S単 7号
SPX003 SP 整地 森林 敷均し(ﾙｰｽﾞ),標準(10,000m3未満),無し	25.000	m3			歩A・単A S単 16号
SXX156 SP 下層路盤(車道・路肩部) 森林 2層施工,再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40,計上しない	76.000	m²			歩A・単A S単 39号
合　計					
・・擁壁工	1.000	式			
・・・ 擁壁工	1.000	式			1 式当たり

事業名	林道施設長寿命化事業
工事名	小出沢1号橋橋梁補修工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
SPA351　作業土工(床掘工) 山積0.8m3(平積0.6m3),砂・砂質土、粘性土、礫質土,障害なし,土留なし	7.000	m3			歩A・単A S単　7号
SQ1041　人力土工(盛土・埋戻) 埋戻,まき出し,締固めを計上しない,砂・砂質土	5.000	m3			歩A・単A S単　23号
SPX003　SP 整地 森林 敷均し(ﾙｰｽﾞ),標準(10,000m3未満),無し	2.000	m3			歩A・単A S単　16号
S02721　【構造物取壊し】 無筋,制約無,人力,昼間施工	0.460	m3			歩A・単A S単　2号
SXX122　SP 殻運搬 森林 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,14.4km以下	0.460	m3			歩A・単A S単　35号
SQ2123　建設副産物処理料金 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	1.080	ton			歩A・単A S単　25号
SXX067　SP プレキャスト擁壁設置 森林 0.5m以上1.0m以下,有り,有り	8.000	m			歩A・単A S単　32号
合　計					
・・洗掘部対策工	1.000	式			
・・・ 洗掘部対策工	1.000	式			1 式当たり
SXX123　SP コンクリート 森林 無筋・鉄筋構造物,ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設,18-8-40(高炉),10m3以上100m3未満,	19.900	m3			歩A・単A S単　37号
特殊養生(練炭､ｼﾞｪｯﾄﾋｰﾀ),延長無し,-,-					
SXX125　SP 型枠 森林 一般型枠,鉄筋・無筋構造物	54.600	㎡			歩A・単A S単　38号
SXX102　SP 目地板 森林 瀝青質目地板 t=10mm	2.300	㎡			歩A・単A S単　34号
SPA351　作業土工(床掘工) 山積0.8m3(平積0.6m3),砂・砂質土、粘性土、礫質土,障害なし,土留なし	26.000	m3			歩A・単A S単　7号
SQ1041　人力土工(盛土・埋戻) 埋戻,まき出し,締固めを計上しない,砂・砂質土	18.000	m3			歩A・単A S単　23号
SPX003　SP 整地 森林 敷均し(ﾙｰｽﾞ),標準(10,000m3未満),無し	8.000	m3			歩A・単A S単　16号
S02721　【構造物取壊し】 無筋,制約無,人力,昼間施工	0.170	m3			歩A・単A S単　2号
SXX122　SP 殻運搬 森林 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,14.4km以下	0.170	m3			歩A・単A S単　35号
SQ2123　建設副産物処理料金 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	0.400	ton			歩A・単A S単　25号
合　計					
・仮設工	1.000	式			
・・仮設工	1.000	式			
・・・ 工事用進入路　上流側	1.000	式			1 式当たり
SPHA01　大型土のう工 製作・設置,6m以下	64.000	袋			歩A・単A S単　14号
SPHA01　大型土のう工 撤去,6m以下	64.000	袋			歩A・単A S単　15号
SPB801　ダンプトラック運搬 10ｔ車,粘性土・砂・砂質土・礫質土,2km,バックホウ　山積0.8m3	64.000	m3			歩A・単A S単　8号
SPX003　SP 整地 森林 残土受入れ地での処理,-,-,	64.000	m3			歩A・単A S単　17号
SXHA11　敷鉄板敷設・撤去工 敷鉄板設置～賃料～撤去	48.000	㎡			歩A・単A S単　29号
SXA202　チェンソー伐開	96.000	㎡			歩A・単A S単　28号
合　計					
・・・ 工事用進入路　下流側	1.000	式			1 式当たり
SPHA01　大型土のう工 製作・設置,6m以下	84.000	袋			歩A・単A S単　14号
SPHA01　大型土のう工 撤去,6m以下	84.000	袋			歩A・単A S単　15号
SPB801　ダンプトラック運搬 10ｔ車,粘性土・砂・砂質土・礫質土,2km,バックホウ　山積0.8m3	84.000	m3			歩A・単A S単　8号
SPX003　SP 整地 森林 残土受入れ地での処理,-,-,	84.000	m3			歩A・単A S単　17号
SXHA11　敷鉄板敷設・撤去工 敷鉄板設置～賃料～撤去	63.000	㎡			歩A・単A S単　29号
SXA202　チェンソー伐開	126.000	㎡			歩A・単A S単　28号
合　計					

事業名	林道施設長寿命化事業
工事名	小出沢1号橋橋梁補修工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
・・・ 林道狭隘部	1.000	式			1 式当たり
SXHA11　敷鉄板敷設・撤去工 敷鉄板設置～賃料～撤去	600.000	㎡			歩A・単A S単　30号
合　計					
・・・ 作業ヤード	1.000	式			1 式当たり
SXHA11　敷鉄板敷設・撤去工 敷鉄板設置～賃料～撤去	162.000	㎡			歩A・単A S単　30号
SPHA01　大型土のう工 製作・設置,6m以下	162.000	袋			歩A・単A S単　14号
SXA202　チェンソー伐開	189.000	㎡			歩A・単A S単　28号
合　計					
・・・ 仮締切工	1.000	式			1 式当たり
SPHA01　大型土のう工 製作・設置,6m以下	18.000	袋			歩A・単A S単　14号
SPHA01　大型土のう工 撤去,6m以下	18.000	袋			歩A・単A S単　15号
SPB801　ダンプトラック運搬 10ｔ車,粘性土・砂・砂質土・礫質土,2km,バックホウ　山積0.8m3	18.000	m3			歩A・単A S単　8号
SPX003　SP 整地 森林 残土受入れ地での処理,-,-,	18.000	m3			歩A・単A S単　17号
P96012　高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 φ1200	20.000	m			歩A・単A
SPH404　水替工（小口径）（ポンプの据付・撤去） ポンプ口径50mm	1.000	箇所			歩A・単A S単　11号
SPH403　水替工(小口径)(ポンプ運転) 0以上6未満,常時排水		日			歩A・単A S単　10号
合　計					
・・・ 足場工	1.000	式			1 式当たり
SPH501　足場設置・撤去 単管傾斜足場,安全ネットなし	40.000	掛㎡			歩A・単A S単　12号
SPH501　足場設置・撤去 手摺先行型枠組足場,安全ネットなし	29.000	掛㎡			歩A・単A S単　13号
合　計					

事業名	林道施設長寿命化事業
工事名	小出沢1号橋橋梁補修工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
運搬費					
・運搬費	1.000	式			
・・運搬費	1.000	式			
・・・ 運搬費	1.000	式			1 式当たり
SQJ003　輸送費(仮設材) ,12m以内,20kmまで,往復計上,計上する(敷鉄板),基地(積込･取卸)	156.800	ton			歩A・単A S単　27号
合　　計					

事業名	林道施設長寿命化事業
工事名	小出沢1号橋橋梁補修工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
技術管理費					
・技術管理費	1.000	式			
・・技術管理費	1.000	式			
・・・ 技術管理費	1.000	式			1 式当たり
S65004　鉄筋調査	2.000	箇所			歩A・単A S単　6号
合　　計					

事業名	林道施設長寿命化事業
工事名	小出沢1号橋橋梁補修工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
一括計上価格					
・スクラップ控除	1.000	式			
・・スクラップ控除	1.000	式			
・・・ スクラップ控除	1.000	式			1 式当たり
SQ2116　スクラップ控除　H1 ,,	12.260	ton			歩A・単A S単　24号
合　　計					

事業名	林道施設長寿命化事業
工事名	小出沢1号橋橋梁補修工事

「留意事項」

1　参考図書は「真摯で機動性のある見積り」を目的に提示するものである。

2　参考図書は、発注者が用いた積算資料を、参考として提示するもので、契約上拘束するものではない。

3　参考図書の内容は、設計図書の変更あるいは誤びゅうによるもの以外、設計変更の対象としない。

数　量　総　括　表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備　考
林道改良(橋梁改良)				
上部工撤去工				
床版撤去工		式	1.000	
作業土工(床掘工)	山積0.8m3(平積0.6m3),砂,無し,無し	m3	24.000	
床掘り	土砂,現場制約あり,-,-,	m3	12.000	
整地	敷均し(ﾙｰｽﾞ),標準(10,000m3未満),無し	m3	36.000	
構造物取壊し	無筋,制約無,機械,昼間施工,する	m3	5.200	
構造物取壊し	無筋,制約無,人力,昼間施工,	m3	2.600	
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,14.4km以下,	m3	7.800	
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	ton	18.300	
コルゲートパイプ	撤去,ﾗｯﾌﾟ型,3,500mmを超え4,500mm以下,	m	13.800	
運搬費(仮設材)	40kmまで,12m以内,片道計上,計上する	ton	2.370	
主桁撤去工		式	1.000	
桁1次及び2次切断・撤去	ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ25t吊,無し,標準,,	ton	9.350	
現場発生品及び支給品運搬	ｸﾚｰﾝ装置付4～4.5t積,35.0km以下,2.6t超2.95t以下	回	4.000	
防護柵撤去		式	1.000	
ガードレール設置・撤去工(橋梁用)	Gr-B-2B,撤去,0	m	27.600	
運搬費(仮設材)	40kmまで,12m以内,片道計上,計上する	ton	0.538	
橋台補修工				
断面修復工		式	1.000	
構造物補修工(断面修復工(左官工法))	鉄筋ケレン・防錆処理を含まない,0.046m3	個	1.000	
人力積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	m3	0.050	
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,14.4km以下,	m3	0.050	
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	ton	0.120	
A1橋台パラペット及び橋座嵩上げ		式	1.000	

数　量　総　括　表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備　考
鉄筋工	SD345,D25,一般構造物,10t未満,ー,無し,一般構造物（切梁無し）,10%	ton	0.039	
鉄筋工	SD345,D16,一般構造物,10t未満,ー,無し,一般構造物（切梁無し）,10%	ton	0.384	
鉄筋工	SD345,D13,一般構造物,10t未満,ー,無し,一般構造物（切梁無し）,10%	ton	0.051	
注入材	エポキシ系	kg	10.600	
コンクリート削孔(さく岩機)	300mm以上400mm以下	孔	13.000	
コンクリート削孔(電動ハンマドリル)	200mm以上400mm以下	孔	58.000	
アンカー筋挿入		本	71.000	
チッピング（厚２ｃｍ以下）		㎡	10.000	
型枠	一般型枠,鉄筋･無筋構造物	㎡	16.600	
コンクリート	無筋･鉄筋構造物,ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設,10m3以上100m3未満,一般養生,延長無し,-,-,,24-8-25(高炉	m3	5.900	
目地板	計上する,目地板(瀝青質板) t=10mm	㎡	0.600	
構造物取壊し	無筋,制約無,人力,昼間施工,	m3	0.080	
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,14.4km以下,	m3	0.080	
建設副産物処理料金	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	ton	0.190	
A2橋台パラペット及び橋座嵩上げ		式	1.000	
鉄筋工	SD345,D25,一般構造物,10t未満,ー,無し,一般構造物（切梁無し）,10%	ton	0.039	
鉄筋工	SD345,D16,一般構造物,10t未満,ー,無し,一般構造物（切梁無し）,10%	ton	0.384	
鉄筋工	SD345,D13,一般構造物,10t未満,ー,無し,一般構造物（切梁無し）,10%	ton	0.051	
注入材	エポキシ系	kg	10.600	
コンクリート削孔(さく岩機)	300mm以上400mm以下	孔	13.000	
コンクリート削孔(電動ハンマドリル)	200mm以上400mm以下	孔	58.000	
アンカー筋挿入		本	71.000	
チッピング（厚２ｃｍ以下）		㎡	10.000	

数　量　総　括　表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備　考
型枠	一般型枠,鉄筋･無筋構造物	㎡	16.600	
コンクリート	無筋･鉄筋構造物,ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設,10m3以上100m3未満,一般養生,延長無し,-,-,,24-8-25(高炉	m3	5.900	
目地板	計上する,目地板(瀝青質板) t=10mm	㎡	0.600	
構造物取壊し	無筋,制約無,人力,昼間施工,	m3	0.080	
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,14.4km以下,	m3	0.080	
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	ton	0.190	
表面被覆工		式	1.000	
下地処理	高所作業車無,昼間	㎡	27.600	
プライマー塗布(CC-A塗装,CC-B塗装)	高所作業車無,昼間	㎡	27.600	
下地調整(CC-A塗装,CC-B塗装)	高所作業車無,昼間	㎡	27.600	
塗装(中塗り)(CC-B塗装)	高所作業車無,昼間	㎡	27.600	
塗装(上塗り)(CC-B塗装)	高所作業車無,昼間	㎡	27.600	
舗装工				
舗装工		式	1.000	
作業土工(床掘工)	山積0.8m3(平積0.6m3),砂,無し,無し	m3	25.000	
整地	敷均し(ﾙｰｽﾞ),標準(10,000m3未満),無し	m3	25.000	
下層路盤（車道・路肩部）	290mm,2層施工,なし,再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40,計上しない	㎡	76.000	
擁壁工				
擁壁工		式	1.000	
作業土工(床掘工)	山積0.8m3(平積0.6m3),砂,無し,無し	m3	7.000	
人力土工(盛土・埋戻)	埋戻,まき出し,締固めを計上しない,砂・砂質土	m3	5.000	
整地 森林	敷均し(ﾙｰｽﾞ),標準(10,000m3未満),無し	m3	2.000	
構造物取壊し	無筋,制約無,人力,昼間施工,	m3	0.460	
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,14.4km以下,	m3	0.460	

数　量　総　括　表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備　考
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	ton	1.080	
L型擁壁	擁壁高75cm,基礎コンあり,基礎砕石10cm	m	8.000	
洗掘部対策工				
洗掘部対策工		式	1.000	
コンクリート	無筋･鉄筋構造物,ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設,10m3以上100m3未満,一般養生,延長無し,-,-,,18-8-40(高炉	m3	19.900	
型枠	一般型枠,鉄筋･無筋構造物	㎡	54.600	
目地板	計上する,目地板(瀝青質板) t=10mm	㎡	2.300	
作業土工(床掘工)	山積0.8m3(平積0.6m3),砂,無し,無し	m3	25.500	
人力土工(盛土・埋戻)	埋戻,まき出し,締固めを計上しない,砂・砂質土	m3	17.800	
整地	敷均し(ﾙｰｽﾞ),標準(10,000m3未満),無し	m3	7.700	
構造物取壊し	無筋,制約無,人力,昼間施工,	m3	0.170	
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,14.4km以下,	m3	0.170	
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	ton	0.400	
仮設工				
仮設工				
工事用進入路　上流側		式	1.000	
大型土のう工	製作・設置,6m以下	袋	64.000	
大型土のう工	撤去,6m以下	袋	64.000	
ダンプトラック運搬	10t車,砂,2km,ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3	m3	64.000	
整地		m3	64.000	
敷鉄板設置・撤去工	設置～賃料～撤去,90,0,なし	㎡	48.000	
チェンソー伐開		m2	96.000	
工事用進入路　下流側		式	1.000	
大型土のう工	製作・設置,6m以下	袋	84.000	

数　量　総　括　表

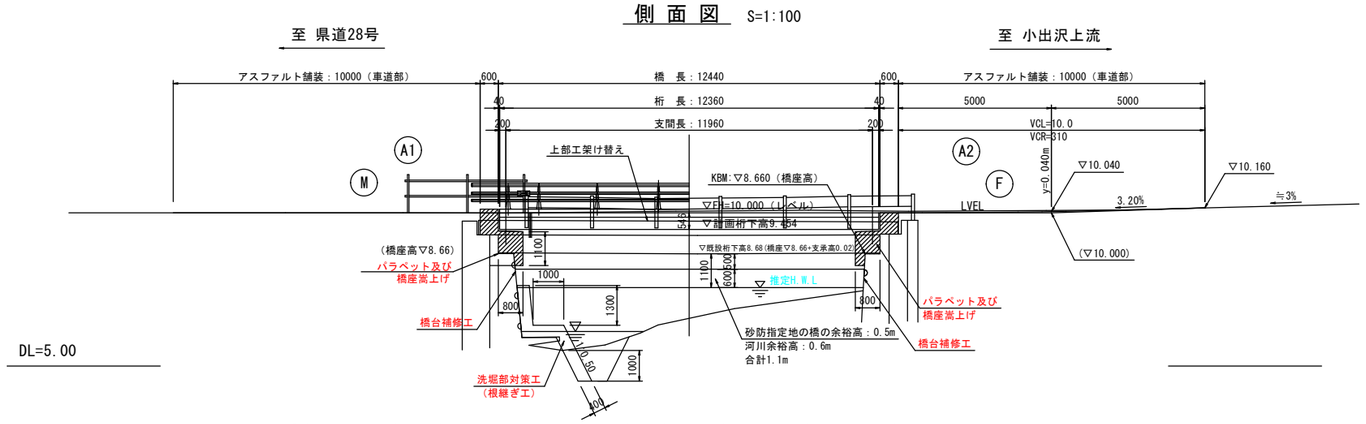
工種・種別・細別	規格	単位	数量	備　考
大型土のう工	撤去,6m以下	袋	84.000	
ダンプトラック運搬	10t車,砂,2km,ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3	m3	84.000	
整地		m3	84.000	
敷鉄板設置・撤去工	設置～賃料～撤去,90,0,なし	㎡	63.000	
チェンソー伐開		m2	126.000	
林道狭隘部		式	1.000	
敷鉄板設置・撤去工	設置～賃料～撤去,180,0,なし	㎡	600.000	
作業ヤード		m2	1.000	
敷鉄板設置・撤去工	設置～賃料～撤去,180,0,なし	㎡	162.000	
大型土のう工	製作・設置,6m以下	袋	162.000	
チェンソー伐開		m2	189.000	
仮締切工		式	1.000	
大型土のう工	製作・設置,6m以下	袋	18.000	
大型土のう工	撤去,6m以下	袋	18.000	
ダンプトラック運搬	10t車,砂,2km,ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3	m3	18.000	
整地		m3	18.000	
高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	φ1200	m	20.000	
ポンプ据付・撤去	口径50mm	箇所	1.000	
ポンプ運転	0以上6未満,常時排水	日	11.000	
足場工		式	1.000	
足場設置・撤去	なし,単管傾斜,なし	掛㎡	40.000	
足場設置・撤去	なし,手摺先行型枠組,なし	掛㎡	29.000	
運搬費				
運搬費				
運搬費				

数　量　総　括　表

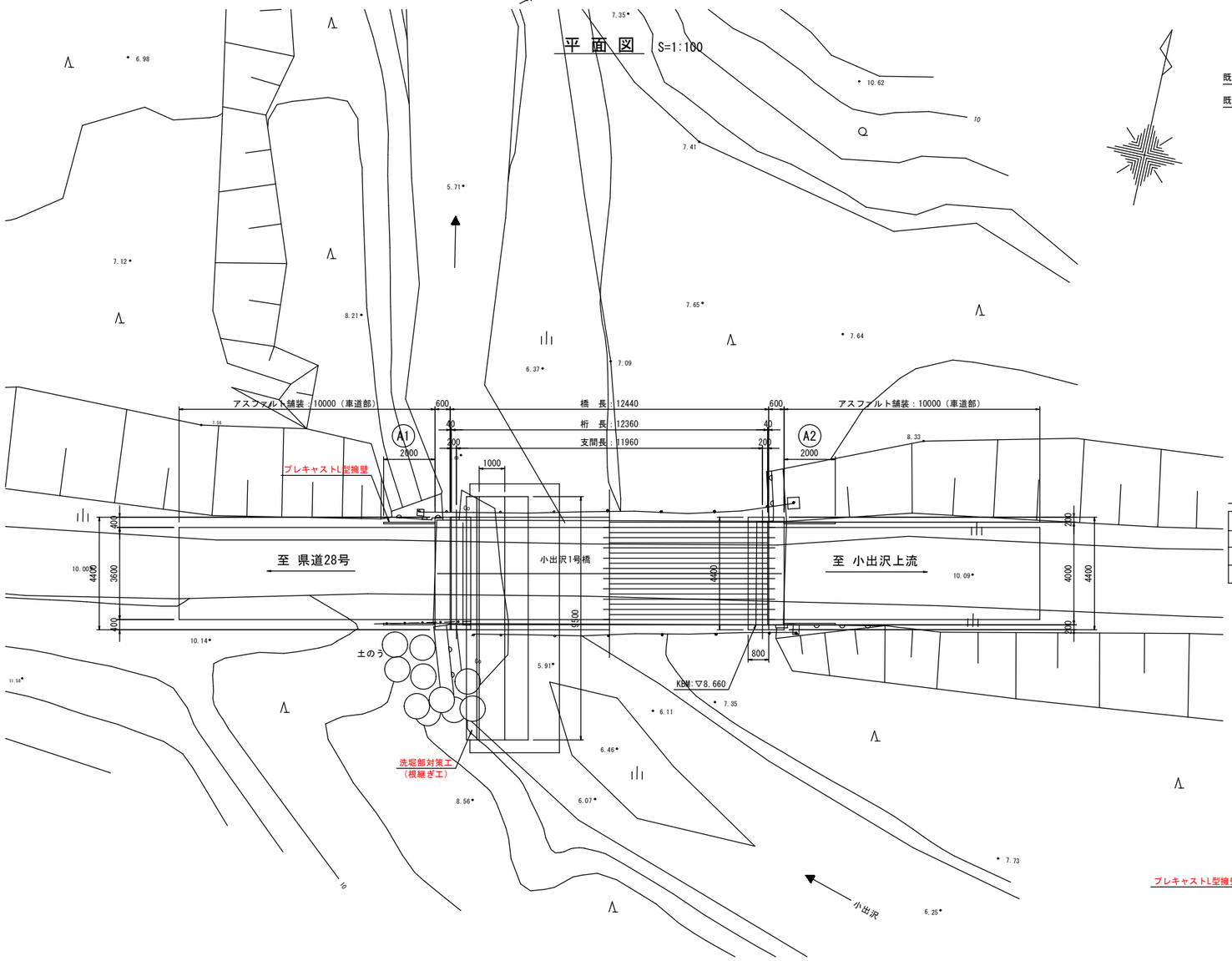
工種・種別・細別	規格	単位	数量	備　考
運搬費		式	1.000	
輸送費(仮設材)	基本運賃(自動入力),12m以内,20kmまで,往復計上,計上する(敷鉄板),基地(積込･取卸),	ton	156.800	
技術管理費				
技術管理費				
技術管理費				
技術管理費		式	1.000	
鉄筋調査	0.6m×0.6m	箇所	2.000	
一括計上価格				
スクラップ控除				
スクラップ控除				
スクラップ控除		式	1.000	
スクラップ控除	H1	ton	12.260	

小出沢1号橋　橋梁一般図

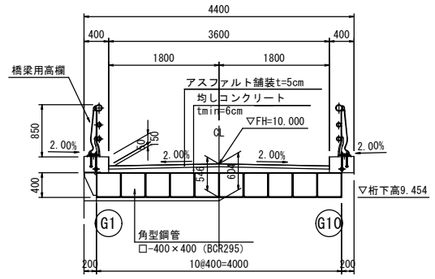
側面図　S=1:100



平面図　S=1:100

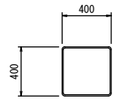


上部工断面図　S=1:50

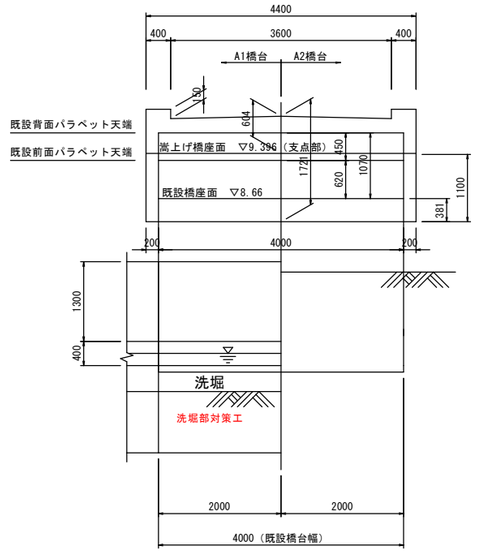


主桁断面図　S=1:25

□-400×400×9（BCR295）



橋台正面図　S=1:50



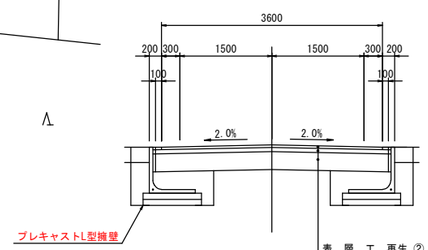
橋梁設計条件

林道名		林道 小出沢線（ｺｲﾃﾞｻﾜｾﾝ）
橋梁名		小出沢1号橋（ｺｲﾃﾞｻﾜｲﾁｺﾞｳｷｮｳ）
河川名		小出沢川（砂防指定地）
道路規格		管理道：自動車道2級
設計速度		V=20km/h
活荷重		TL-14
橋長		12.440m
桁長		12.360m
支間長		11.960m
有効幅員		3.600m
全幅員		4.400m
縦断勾配		j=Level
横断勾配		拝みi=2.0%
平面線形		R=∞
斜角		90°00′00″
雪荷重		1.0kN/㎡（活荷重同時載荷、融雪剤散布なし）
添架物		なし
踏掛版		なし
大型車交通量		1方向あたりの計画交通量(台/日)500未満
架設方法		クレーン架設
舗装		アスファルト舗装tmin=5cm
上部工 新設	橋梁形式	角型鋼管床板橋(角太橋)
	主桁	BCR295
支承工		A1可動・A2固定（レベル2地震動対応）
耐震設計	重要度区分	A種
	設計地震動	レベル2地震動（支承部）
	地盤種別	Ⅰ種
	設計震度の標準値	kh0=0.20、kⅠh0=1.40、kⅡh0=2.00
	地域別補正係数	秋田県 CZ=0.85、CⅠZ=1.0、CⅡZ=0.85
	落橋防止システム	必要桁かかり長確保
下部工（既設）		既設A1橋台：重力式 H=不明
		既設A2橋台：重力式 H=不明
		コンクリート：σck=16N/mm²
		裏込め土：φ35°、γ=18kN/?（推定）
基礎工（既設）		既設A1橋台：不明（直接基礎：推定）
		既設A2橋台：不明（直接基礎：推定）
塩害対策		地域区分C（海岸線からの距離25km）対策区分非該当
適用示方書（上部工）		道路橋示方書Ⅰ～Ⅴ H29.11 (社)日本道路協会
現橋竣工年		昭和38年(1963年)　架設より59年経過

補修項目一覧

補修項目	工種	規格等
橋台補修工	断面修復工	左官工法（ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ）
洗堀部対策工	根継ぎ工	腰排型（コンクリート）
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ及び橋座嵩上げ	RC構造	桁かかり長確保

車道部舗装構成　S=1:50



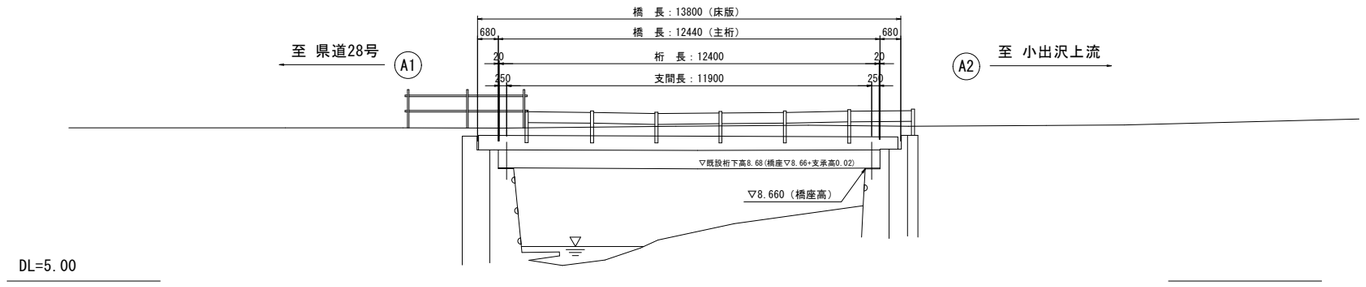
表層工	再生②密粒度アスコン(13)	t= 4cm
上層路盤工	粒度調整砕石(M-40)	t= 7cm
下層路盤工	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC-40)	t=29cm

注記）
注1）本工事施工範囲は、補修一般図赤文字部の工種とする。
注2）既設構造寸法は現地計測によるものである。
注3）図中の寸法、数量は、現地検測のうえ決定すること。

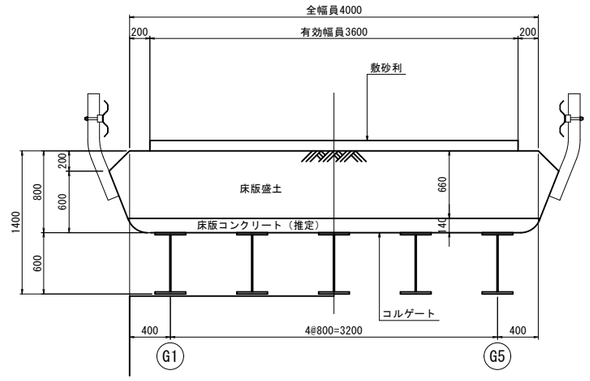
年度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	小出沢１号橋　橋梁一般図	図面番号	１／14
設計	設計	縮尺	図示
秋田市　農地森林整備課			

小出沢1号橋　既設橋梁一般図

側 面 図　S=1:100

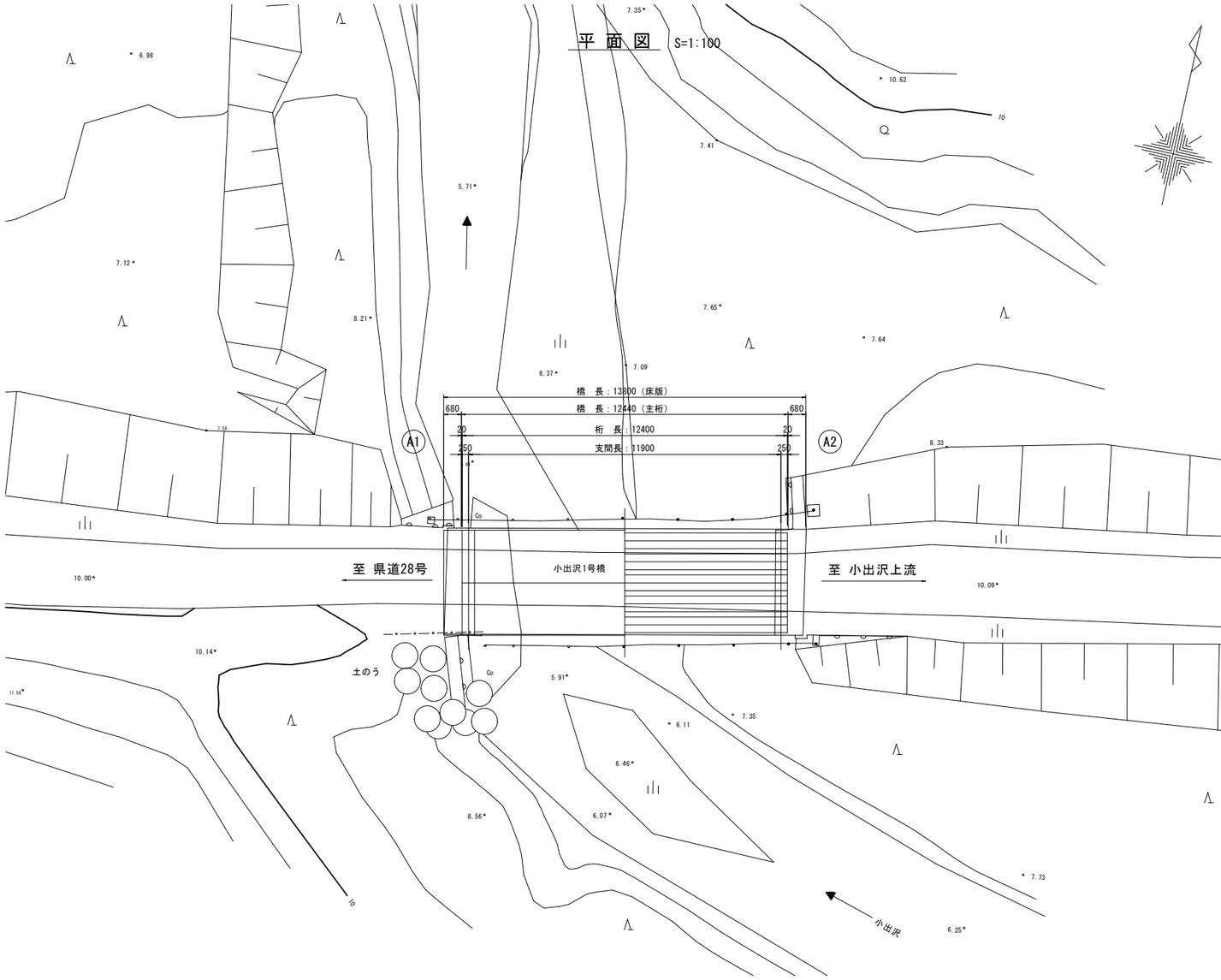


断 面 図　S=1:30



※主桁は桁長12.4mの1本もので、添接板による連結構造では無い。
また、横桁や対傾構等による横断方向連結も無い。

平 面 図　S=1:100



橋　梁　諸　元

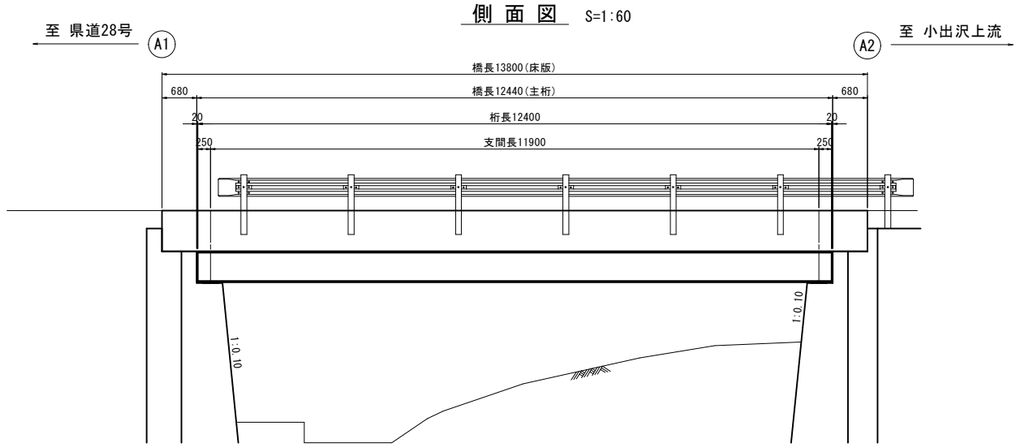
橋　梁　名		小出沢1号橋
路　線　名		林道小出沢線（管理道：自動車道2級）
架　橋　場　所		秋田市河辺岩見　地内
交　差　物　件		小出沢
架　設　年　月		昭和38年(1963年)　架設より59年経過
上部工	設計　荷重	2等橋(TL-14)
	適用示方書	鋼道路橋設計示方書（昭和31年）
	構造　形式	鋼単純鈑桁橋(床版：コルゲート形式)
	橋　　長	L=13.80m(主桁 L=12.44m)
	桁　　長	L=12.40m
	支　間　長	L=11.90m
	幅員　構成	W=4.00m(有効幅員w=3.60m)
	斜　　角	90° 00′ 00″
下部工	橋台　形式	重力式橋台
	基礎　形式	不明（直接基礎）

注記）
注1）既設構造寸法は、既存資料及び現地計測によるものである。

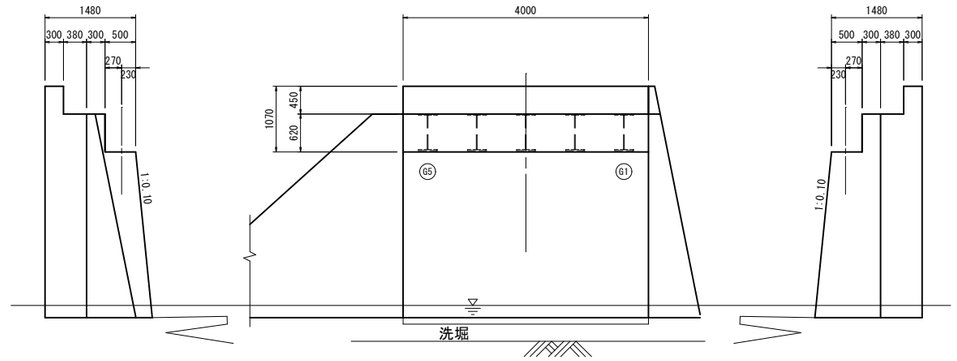
年　度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	小出沢１号橋 既設橋梁一般図	図面番号	2 ／14
設計	設計	縮尺	図示
秋田市　農地森林整備課			

小出沢1号橋　既設構造一般図

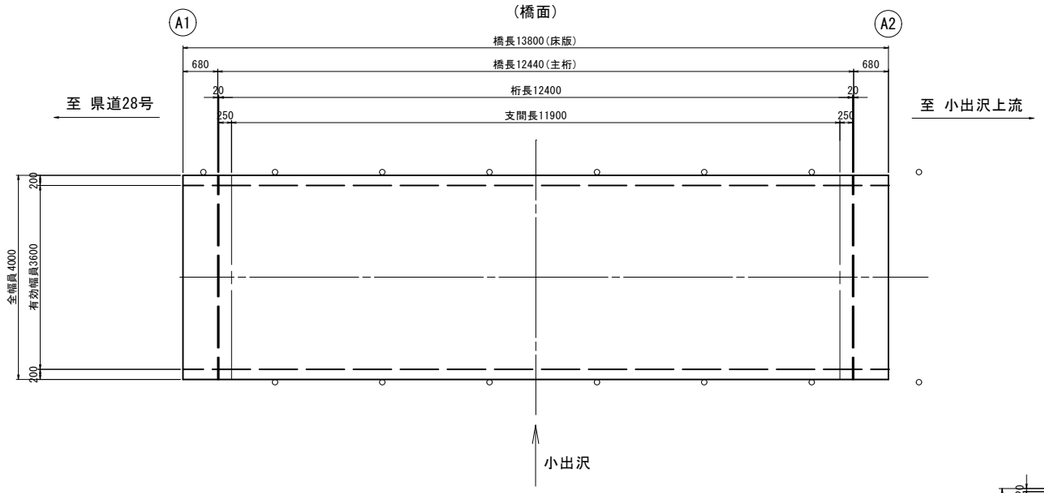
側 面 図　S=1:60



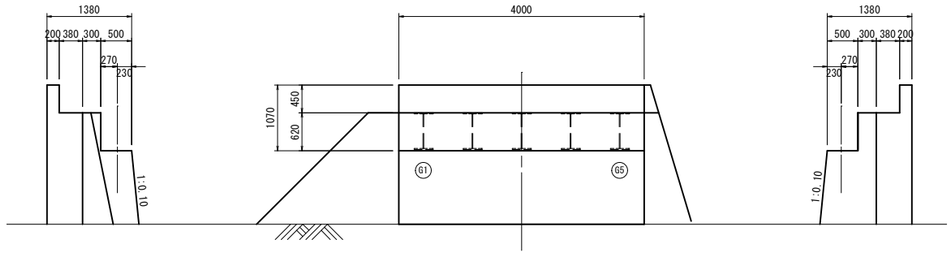
A1橋台　S=1:50



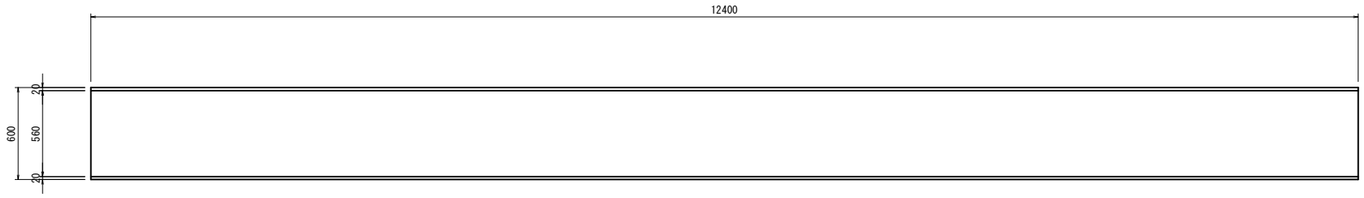
平 面 図　S=1:60



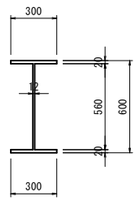
A2橋台　S=1:50



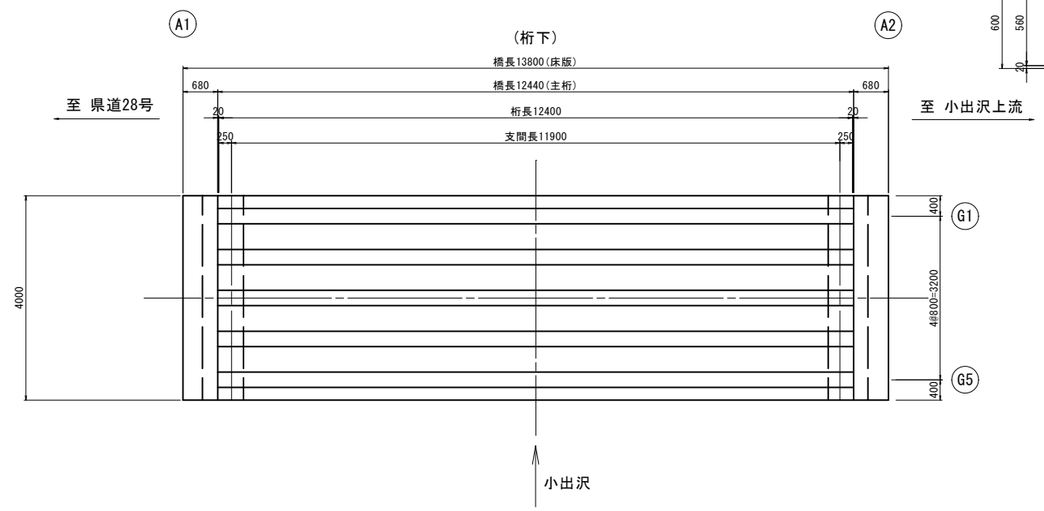
主桁側面図　S=1:20



主桁断面図　S=1:20



※主桁は桁長12.4mの1本もので、添接板による連結は無い。
　また、横桁や対傾構等による横断方向部材も無い。



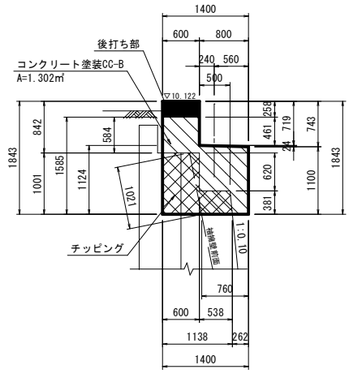
注記)
注1) 既設構造寸法は、既存資料及び現地計測によるものである。

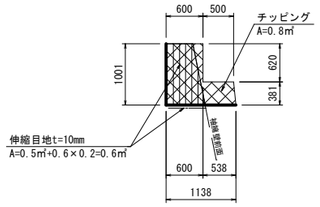
年　度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	小出沢１号橋 既設構造一般図	図面番号	3 ／14
設計	設計	縮尺	図示
秋田市　農地森林整備課			

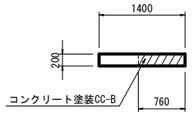
小出沢1号橋　A1橋台パラペット及び橋座嵩上げ詳細図

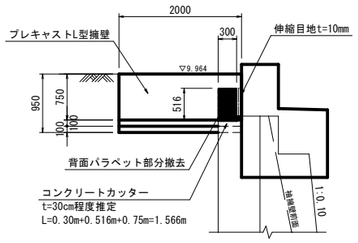
S=1:50

b-b
側面図

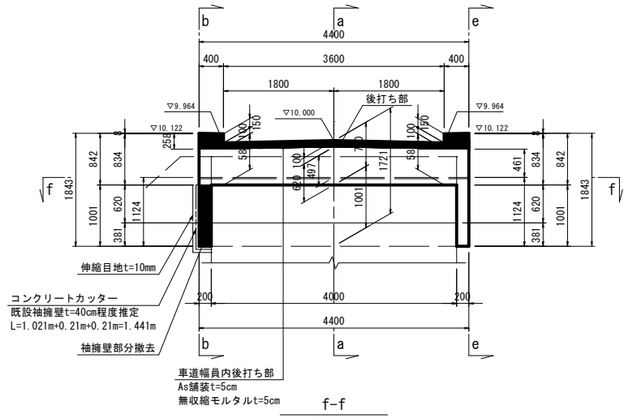




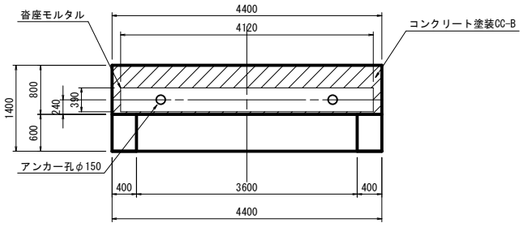




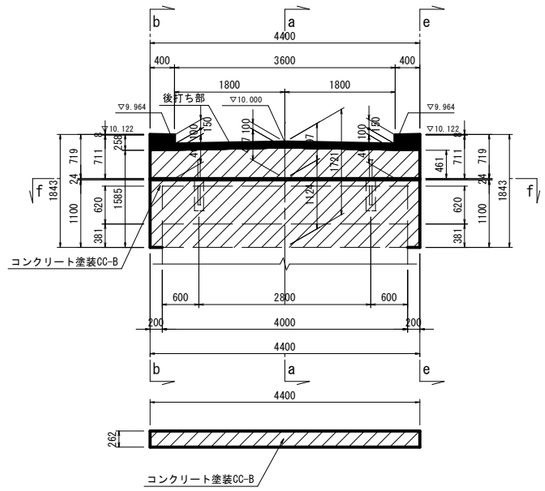
d-d
背面図



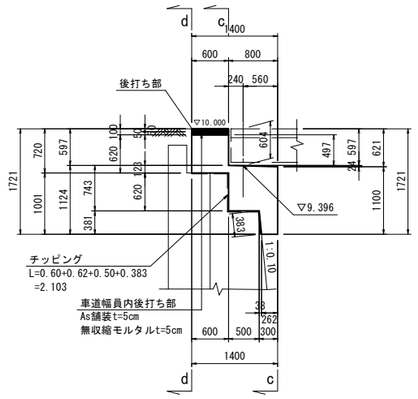
f-f
平面図



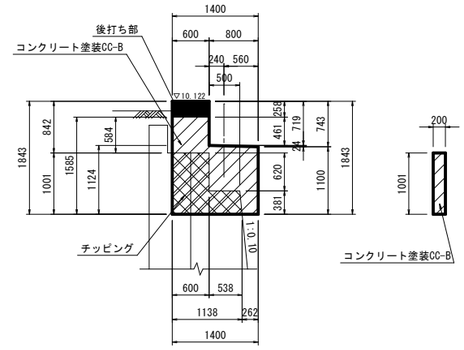
c-c
正面図

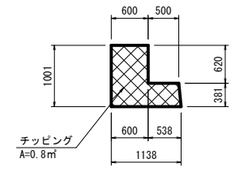


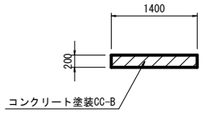
a-a
断面図



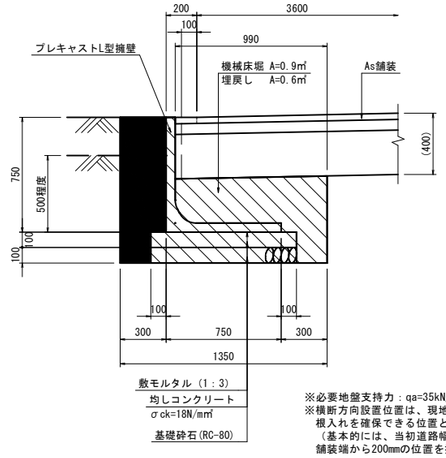
e-e
側面図



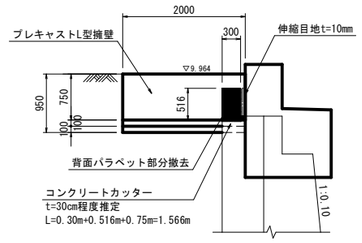




プレキャストL型擁壁　S=1:20



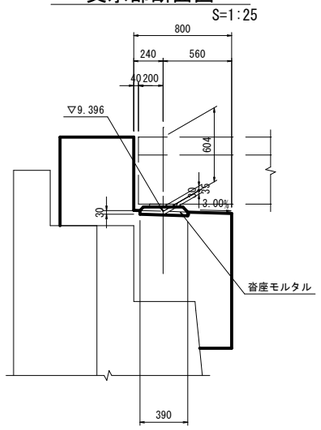
※必要地盤支持力：qa=35kN/㎡
※横断方向設置位置は、現地状況を踏まえ根入れを確保できる位置とすること。
（基本的には、当初道路幅員4.0mを考慮し、舗装端から200mmの位置を擁壁背面とする。）



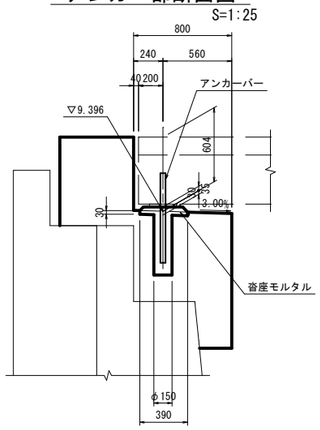
凡例：

	チッピング
	後打ち部
	コンクリート塗装
	コンクリートカッター
	袖擁壁撤去
	伸縮目地

支承部断面図　S=1:25



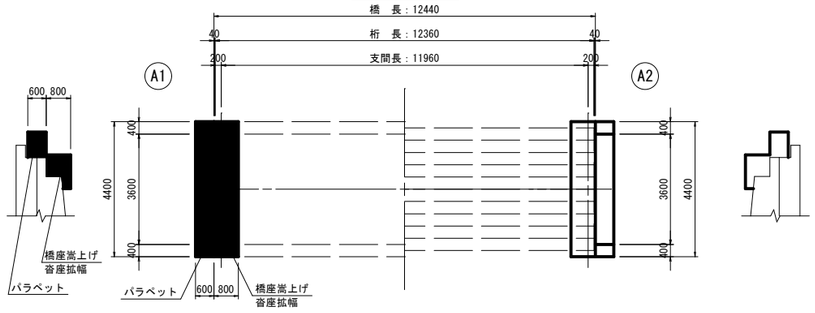
アンカー部断面図　S=1:25



コンクリート塗装　CC-B

工　程		塗　料　名	目標膜厚 (μm)	標準使用量 (g/m2)	塗装方法	塗装間隔
前処理	プライマー	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂プライマー	-	100	スプレー (はけ・ローラー)	1日～10日
	パテ	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂パテ	-	300	へら	1日～10日
中　塗		コンクリート塗装用 柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	60	320 (260)	スプレー (はけ・ローラー)	1日～10日
上　塗		コンクリート塗装用 柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	30	150 (120)	スプレー (はけ・ローラー)	

配　置　図　S=1:100



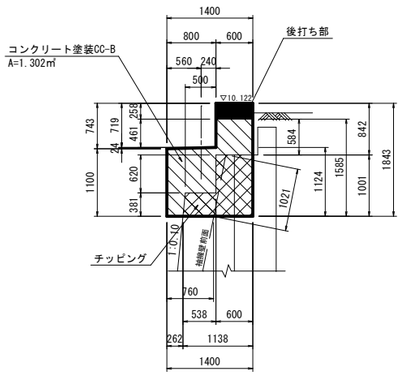
注記）
注1）既設構造寸法は現地計測によるものである。
注2）図中の寸法、数量は、現地検測のうえ決定すること。
注3）橋面高は現道高に合わせた計画としている。パラペット構築後、盛こぼしが生じないよう円滑に現道すり付けを行うこと。
注4）車道幅員内の後打ち部は、伸縮継手の後埋め仕上げに準拠すること。

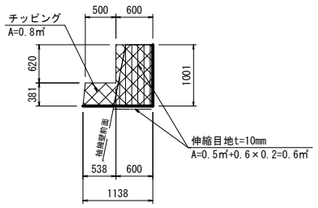
年　度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	小出沢1号橋A1橋台パラペット及び橋座嵩上げ詳細図	図面番号	4 ／14
設計	設計	縮尺	図示
秋田市　農地森林整備課			

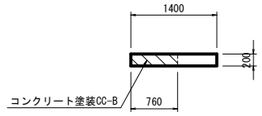
小出沢1号橋　A2橋台パラペット及び橋座嵩上げ詳細図

S=1:50

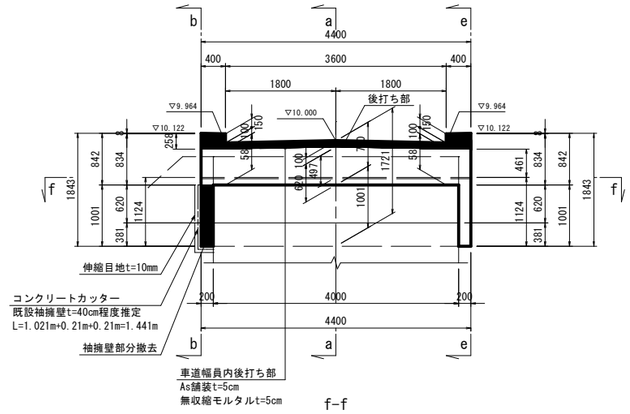
b-b
側面図



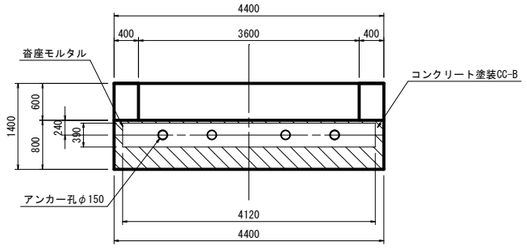




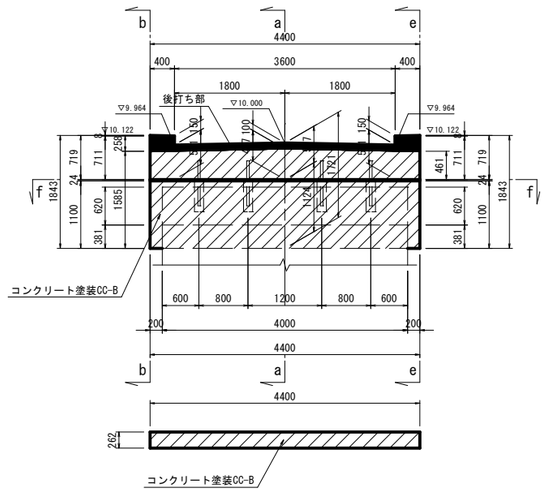
d-d
背面図



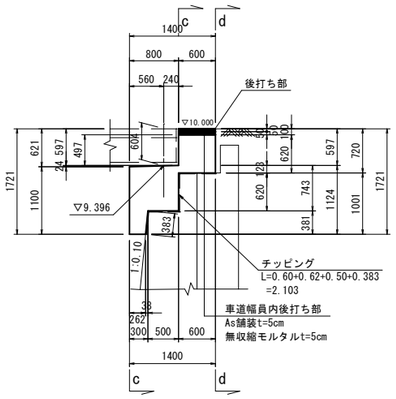
f-f
平面図



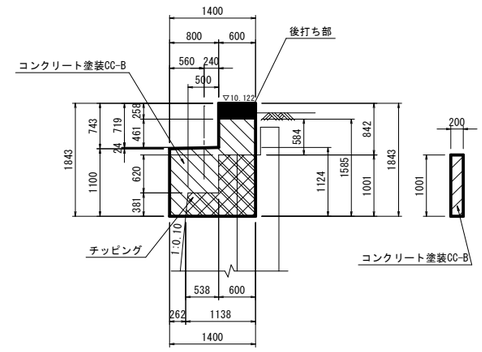
c-c
正面図

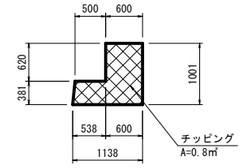


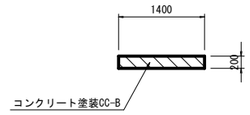
a-a
断面図



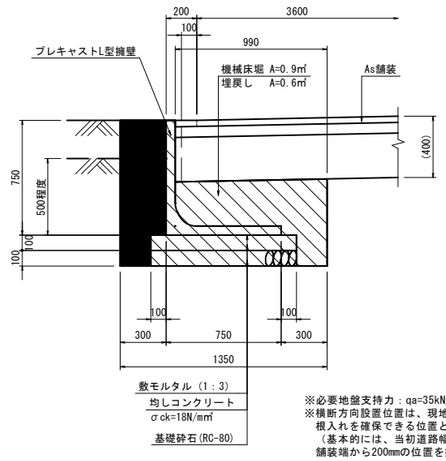
e-e
側面図



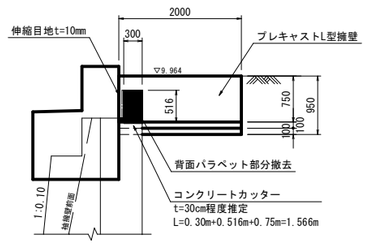


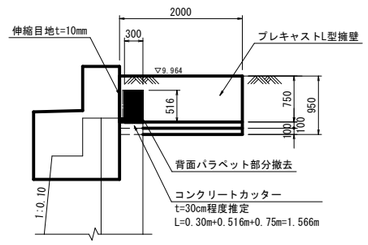


プレキャストL型擁壁　S=1:20



※必要地盤支持力：qa=35kN/㎡
※横断方向設置位置は、現地状況を踏まえ根入れを確保できる位置とすること。
（基本的には、当初道路幅員4.0mを考慮し、舗装端から200mmの位置を擁壁背面とする。）



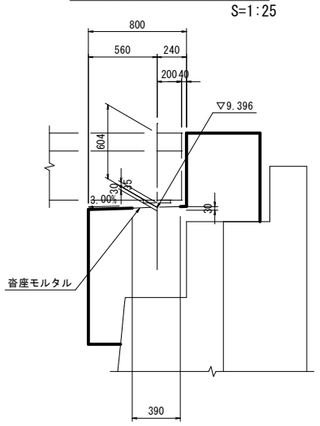


凡例：

	チッピング
	後打ち部
	コンクリート塗装
	コンクリートカッター
	袖擁壁撤去
	伸縮目地

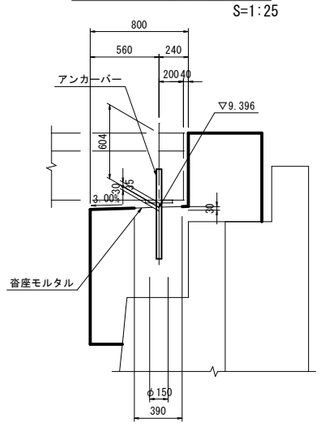
支承部断面図

S=1:25



アンカー部断面図

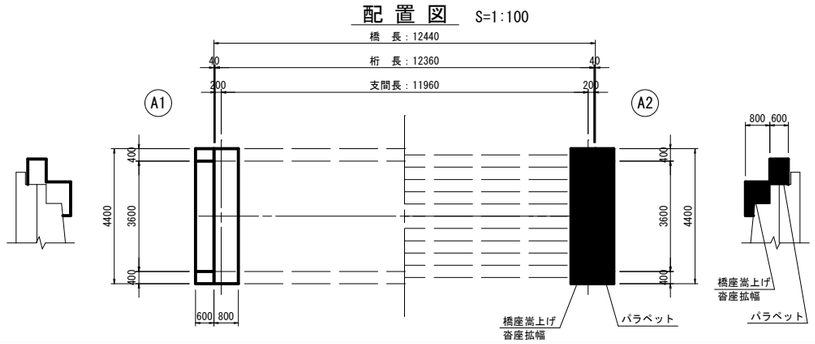
S=1:25



コンクリート塗装　CC-B

工　程		塗　料　名	目標膜厚 (μm)	標準使用量 (g/m2)	塗装方法	塗装間隔
前処理	プライマー	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂プライマー	-	100	スプレー (はけ・ローラー)	1日～10日
	パテ	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂パテ	-	300	へら	1日～10日
中　塗		コンクリート塗装用 柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	60	320 (260)	スプレー (はけ・ローラー)	1日～10日
上　塗		コンクリート塗装用 柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	30	150 (120)	スプレー (はけ・ローラー)	

配　置　図　S=1:100



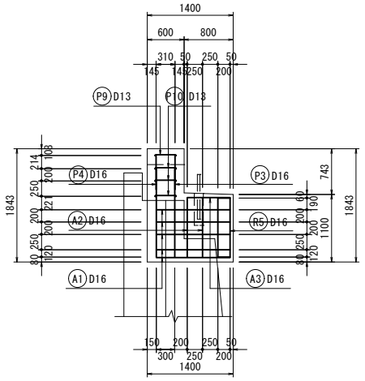
注記）
注1）既設構造寸法は現地計測によるものである。
注2）図中の寸法、数量は、現地検測のうえ決定すること。
注3）橋面高は現道高に合わせた計画としている。パラペット構築後、盛こぼしが生じないよう円滑に現道すり付けを行うこと。
注4）車道幅員内の後打ち部は、伸縮継手の後埋め仕上げに準拠すること。

年　度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	小出沢1号橋A2橋台パラペット及び橋座嵩上げ詳細図	図面番号	5 ／14
設計	設計	縮尺	図示
秋田市　農地森林整備課			

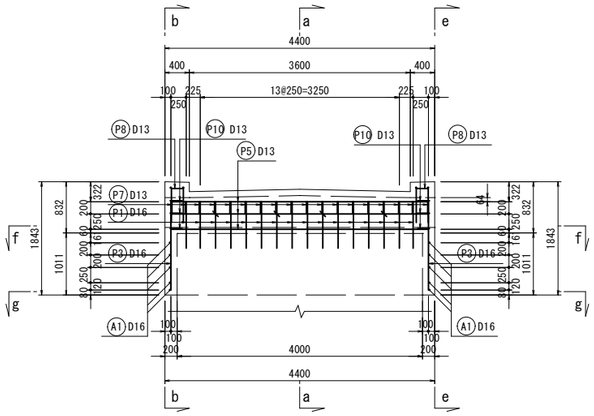
小出沢1号橋　A1橋台パラペット及び橋座嵩上げ配筋図（1／2）

S=1:50

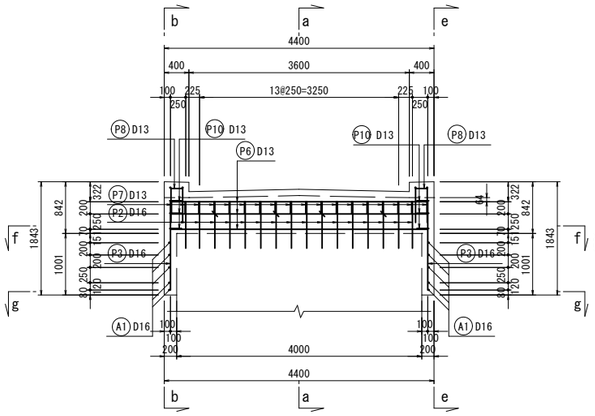
b-b
側面図



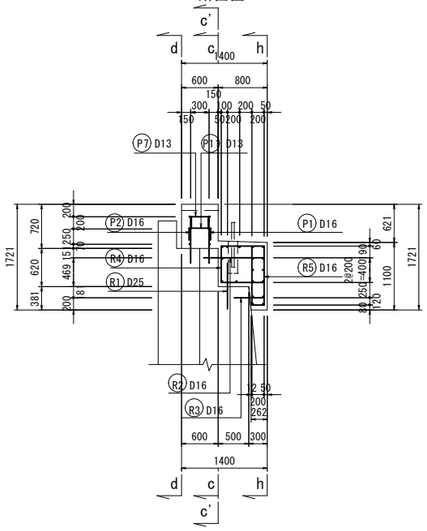
c-c
パラペット正面



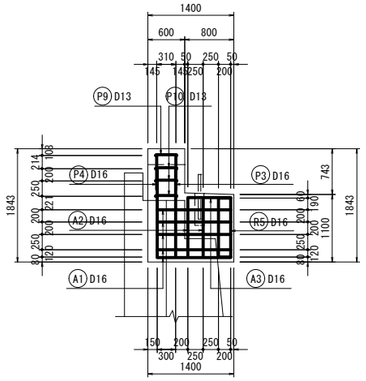
d-d
パラペット背面



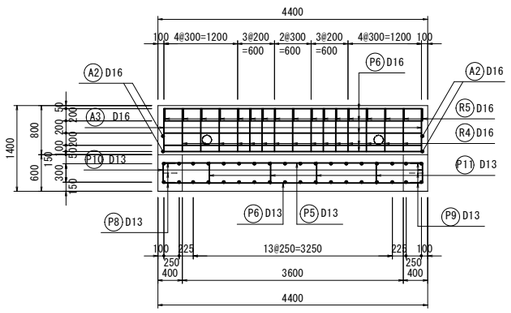
a-a
断面図



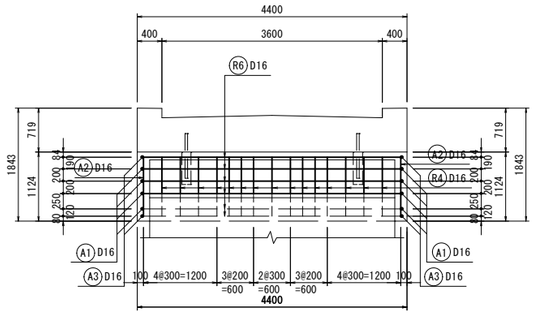
e-e
側面図



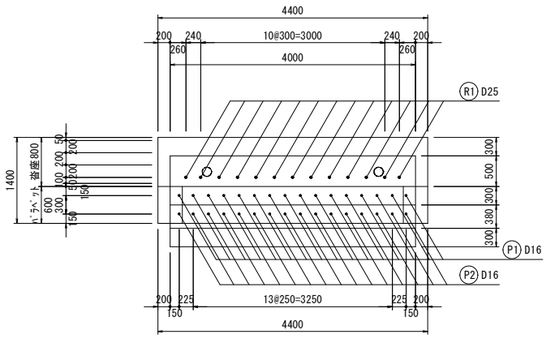
f-f
平面図



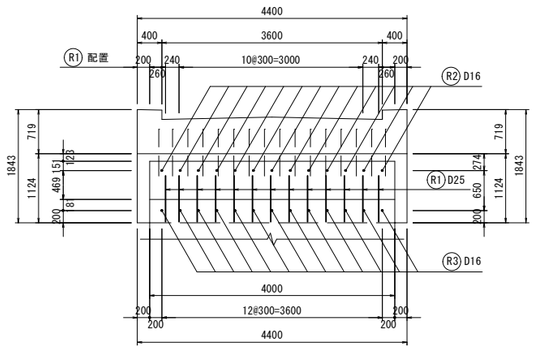
c'-c'
沓座正面



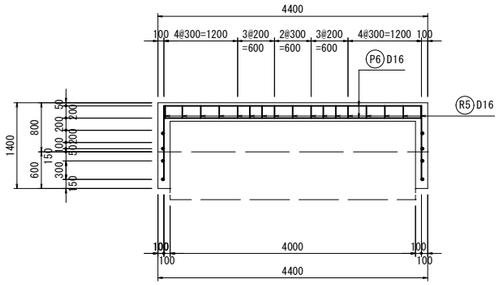
f-f
アンカー削孔位置



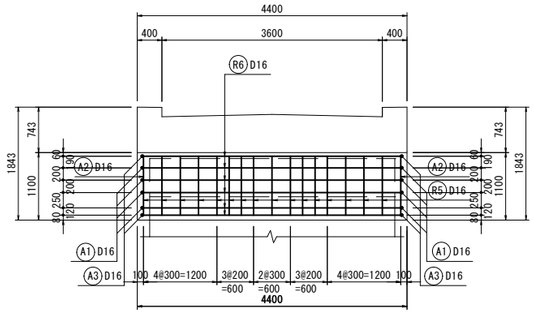
c'-c'
アンカー削孔位置

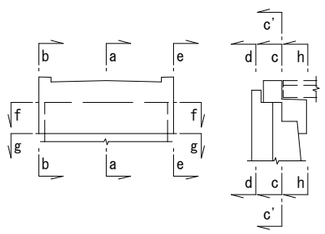


g-g
平面図

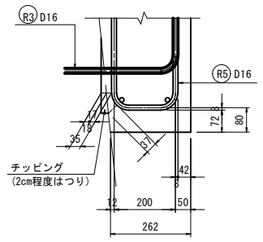


h-h
沓座正面

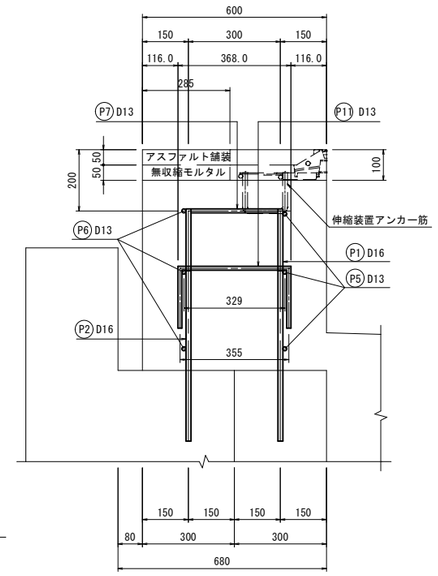




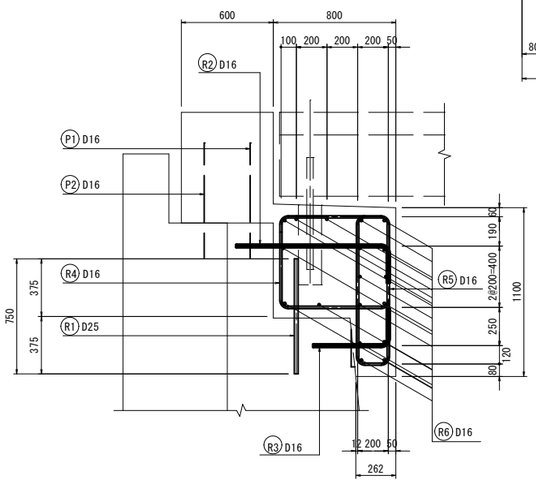
かぶり詳細図　S=1:10



※外面純かぶり35mm以上確保



橋座断面詳細図　S=1:20

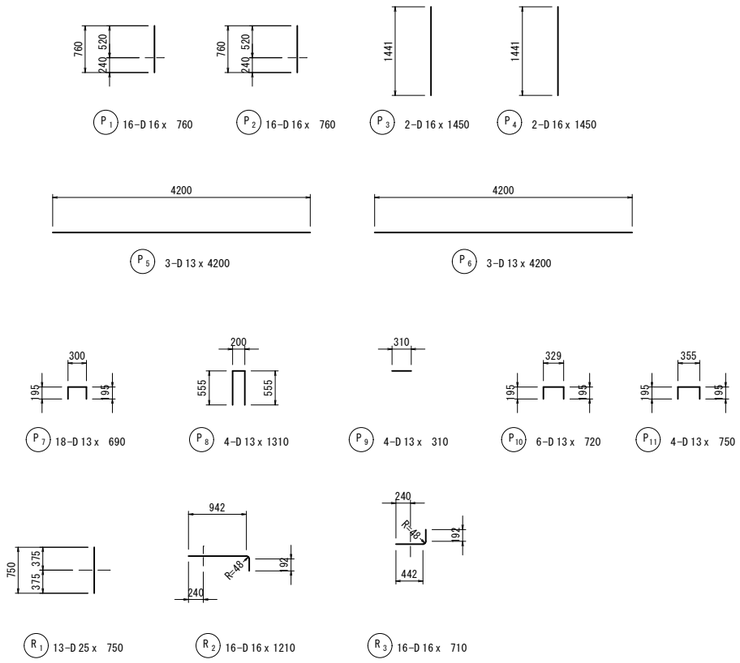


注記）
注1）既設構造寸法は現地計測によるものである。
注2）図中の寸法、数量は、現地検測のうえ決定すること。
注3）アンカー削孔は既設鉄筋を切断しないよう鉄筋探査等により位置を確認した上で、行うこと。

年　度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	小出沢1号橋A1橋台パラペット及び橋座嵩上げ配筋図（1／2）	図面番号	6 ／14
設計	設計	縮尺	図示
秋田市　農地森林整備課			

小出沢1号橋　A1橋台パラペット及び橋座嵩上げ配筋図（2／2）

S=1:50

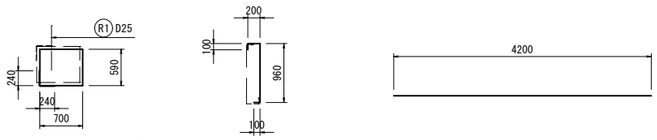


P1 16-D16 x 760　P2 16-D16 x 760　P3 2-D16 x 1450　P4 2-D16 x 1450

P5 3-D13 x 4200　P6 3-D13 x 4200

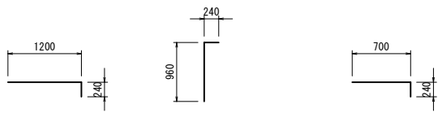
P7 18-D13 x 690　P8 4-D13 x 1310　P9 4-D13 x 310　P10 6-D13 x 720　P11 4-D13 x 750

R1 13-D25 x 750　R2 16-D16 x 1210　R3 16-D16 x 710



※フックはパラペット側とし上下に交互配置する。

R4 15-D16 x 3060　R5 34-D16 x 1360　R6 18-D16 x 4200



A1 10-D16 x 1440　A2 4-D16 x 1200　A3 2-D16 x 940

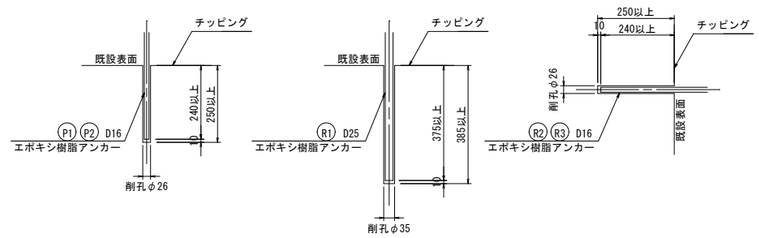
鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
P1	D16	760	16	1.56	1.19	19	
P2	D16	760	16	1.56	1.19	19	
P3	D16	1450	2	1.56	2.26	5	
P4	D16	1450	2	1.56	2.26	5	
P5	D13	4200	3	0.995	4.18	13	
P6	D13	4200	3	0.995	4.18	13	
P7	D13	690	18	0.995	0.69	12	
P8	D13	1310	4	0.995	1.30	5	
P9	D13	310	4	0.995	0.31	1	
P10	D13	720	6	0.995	0.72	4	
P11	D13	750	4	0.995	0.75	3	
						99 kg	
R1	D25	750	13	3.98	2.99	39	
R2	D16	1210	16	1.56	1.89	30	
R3	D16	710	16	1.56	1.11	18	
R4	D16	3060	15	1.56	4.34	72	
R5	D16	1360	34	1.56	2.12	72	
R6	D16	4200	18	1.56	6.55	118	
						349 kg	
A1	D16	1440	10	1.56	2.25	23	
A2	D16	1200	4	1.56	1.87	7	
A2	D16	940	2	1.56	1.47	3	
						33 kg	

D25	39 kg	（橋座）
D16	391 kg	（パラペット：48kg＋橋座：343kg）
D13	51 kg	（パラペット）
合　計	481 kg	SD345
橋座小計：D16～D25	382 kg	
パラペット小計：D16	48 kg	
パラペット小計：D13	51 kg	

アンカー定着詳細図　S=1:10

パラペット　　橋座嵩上げ部　　沓座拡幅部



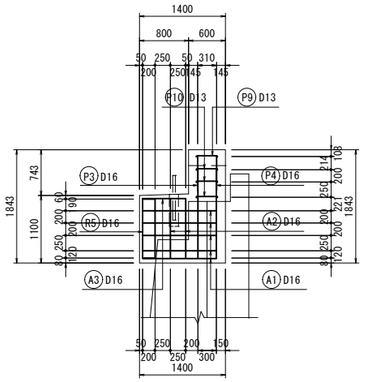
注記）
注1）既設構造寸法は現地計測によるものである。
注2）図中の寸法、数量は、現地検測のうえ決定すること。
注3）アンカー削孔は既設鉄筋を切断しないよう鉄筋探査等により位置を確認した上で、行うこと。

年　度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	小出沢1号橋A1橋台パラペット及び橋座嵩上げ配筋図（2／2）	図面番号	7 ／14
設計	設計	縮尺	図示
秋田市　農地森林整備課			

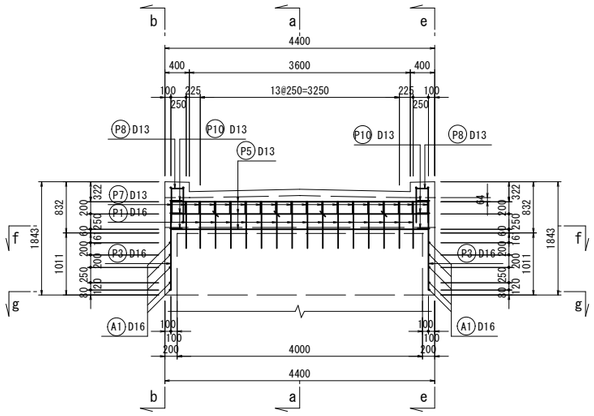
小出沢1号橋　A2橋台パラペット及び橋座嵩上げ配筋図（1／2）

S=1:50

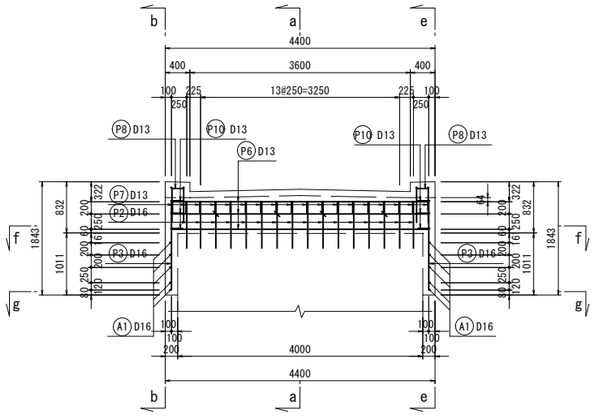
b-b
側面図



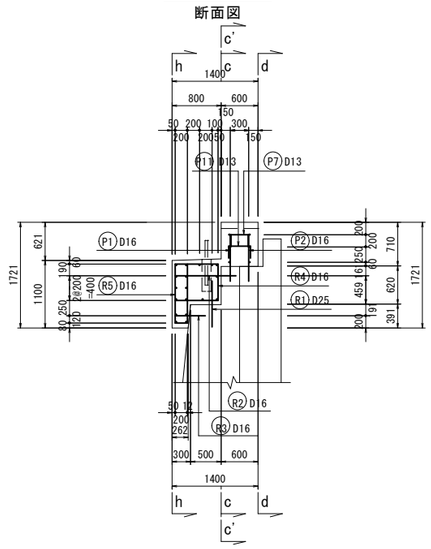
c-c
パラペット正面



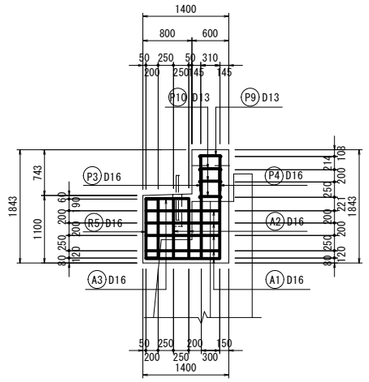
d-d
パラペット背面



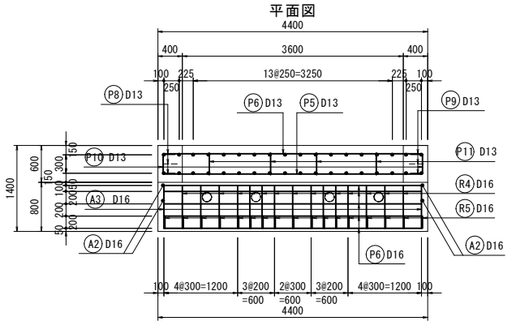
a-a
断面図



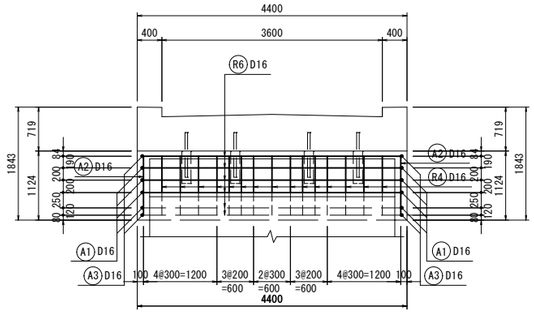
e-e
側面図



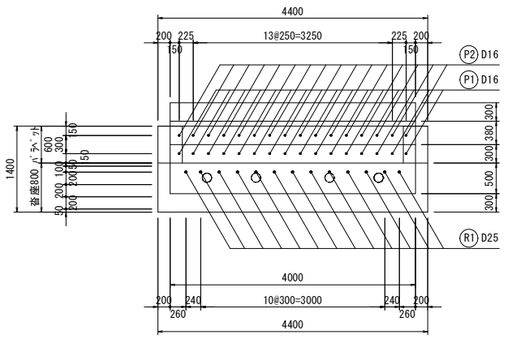
f-f
平面図



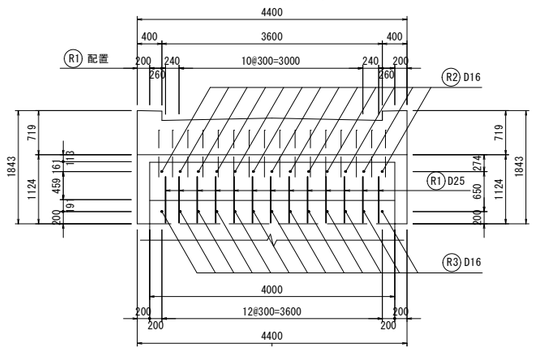
c'-c'
沓座正面



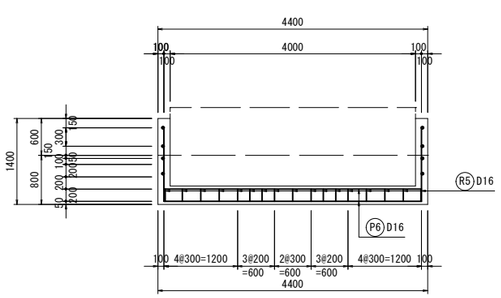
f-f
アンカー削孔位置



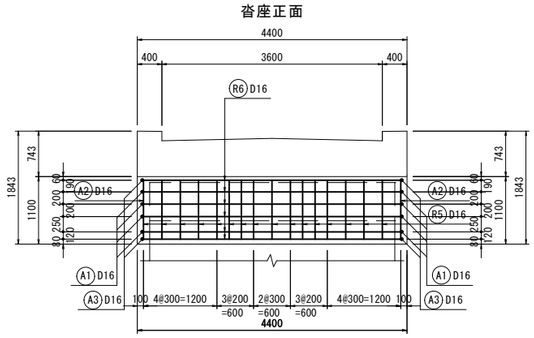
c'-c'
アンカー削孔位置

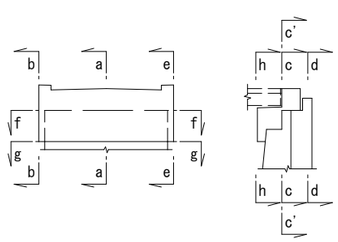


g-g
平面図

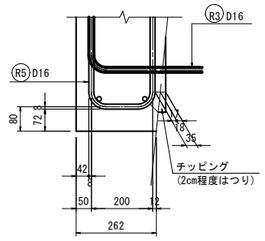


h-h
沓座正面

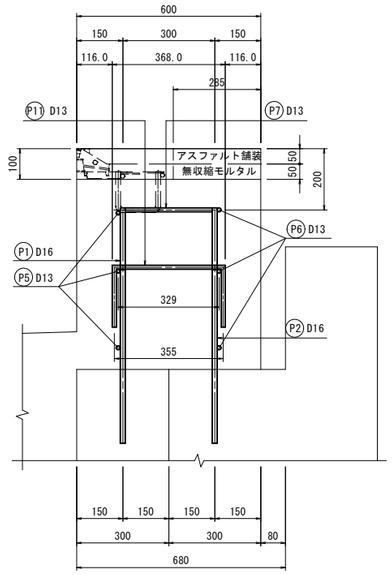




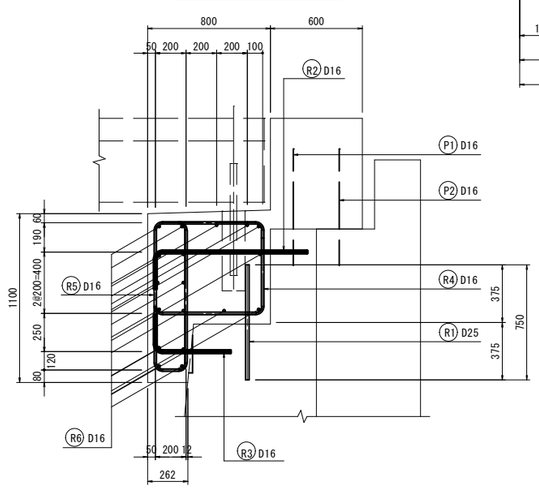
かぶり詳細図　S=1:10



※外面純かぶり35mm以上確保



橋座断面詳細図　S=1:20



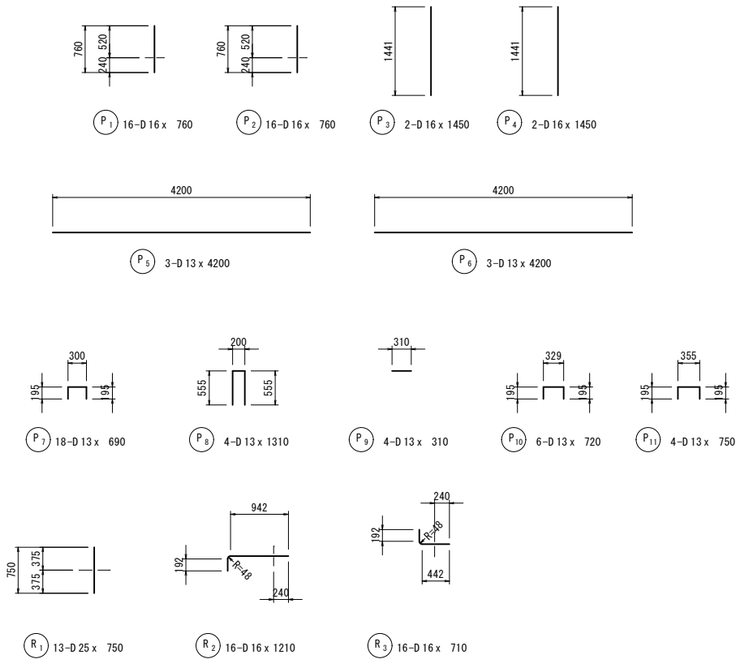
注記）
注1）既設構造寸法は現地計測によるものである。
注2）図中の寸法、数量は、現地検測のうえ決定すること。
注3）アンカー削孔は既設鉄筋を切断しないよう鉄筋探査等により位置を確認した上で、行うこと。

年　度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	小出沢1号橋A2橋台パラペット及び橋座嵩上げ配筋図（1／2）	図面番号	8 ／14
設計	設計	縮尺	図示

秋田市　農地森林整備課

小出沢1号橋　A2橋台パラペット及び橋座嵩上げ配筋図（2／2）

S=1:50

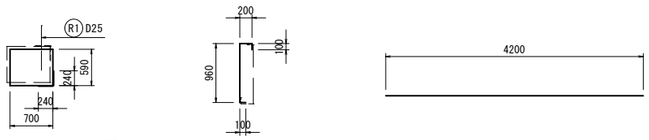


P1 16-D16 x 760　P2 16-D16 x 760　P3 2-D16 x 1450　P4 2-D16 x 1450

P5 3-D13 x 4200　P6 3-D13 x 4200

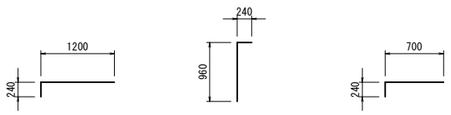
P7 18-D13 x 690　P8 4-D13 x 1310　P9 4-D13 x 310　P10 6-D13 x 720　P11 4-D13 x 750

R1 13-D25 x 750　R2 16-D16 x 1210　R3 16-D16 x 710



※フックはパラペット側とし上下に交互配置する。

R4 15-D16 x 3060　R5 34-D16 x 1360　R6 18-D16 x 4200



A1 10-D16 x 1440　A2 4-D16 x 1200　A3 2-D16 x 940

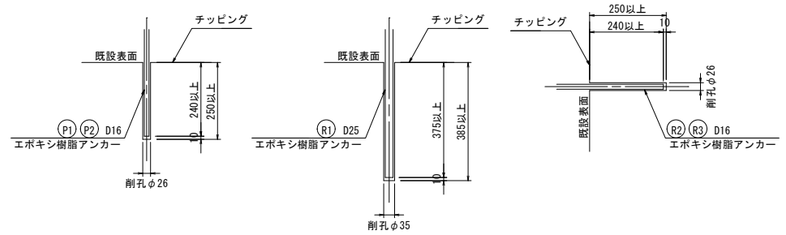
鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
P1	D16	760	16	1.56	1.19	19	
P2	D16	760	16	1.56	1.19	19	
P3	D16	1450	2	1.56	2.26	5	
P4	D16	1450	2	1.56	2.26	5	
P5	D13	4200	3	0.995	4.18	13	
P6	D13	4200	3	0.995	4.18	13	
P7	D13	690	18	0.995	0.69	12	
P8	D13	1310	4	0.995	1.30	5	
P9	D13	310	4	0.995	0.31	1	
P10	D13	720	6	0.995	0.72	4	
P11	D13	750	4	0.995	0.75	3	
						99 kg	
R1	D25	750	13	3.98	2.99	39	
R2	D16	1210	16	1.56	1.89	30	
R3	D16	710	16	1.56	1.11	18	
R4	D16	3060	15	1.56	4.34	72	
R5	D16	1360	34	1.56	2.12	72	
R6	D16	4200	18	1.56	6.55	118	
						349 kg	
A1	D16	1440	10	1.56	2.25	23	
A2	D16	1200	4	1.56	1.87	7	
A2	D16	940	2	1.56	1.47	3	
						33 kg	

D25	39 kg	（橋座）
D16	391 kg	（パラペット：48kg＋橋座：343kg）
D13	51 kg	（パラペット）
合　計	481 kg	SD345
橋座小計：D16～D25	382 kg	
パラペット小計：D16	48 kg	
パラペット小計：D13	51 kg	

アンカー定着詳細図　S=1:10

パラペット　　橋座嵩上げ部　　沓座拡幅部



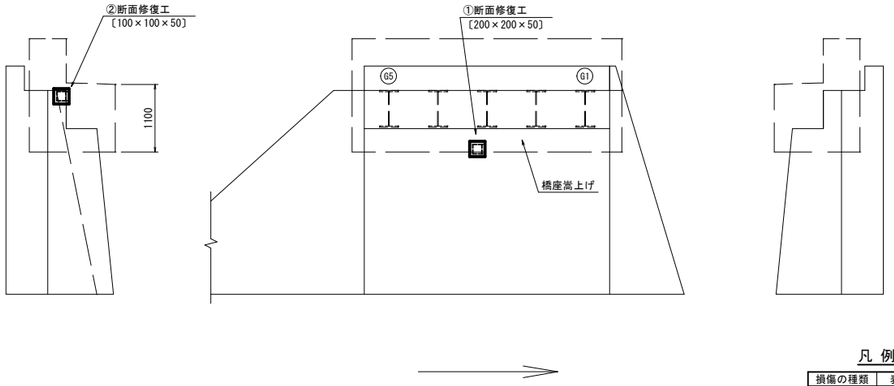
注記）
注1）既設構造寸法は現地計測によるものである。
注2）図中の寸法、数量は、現地検測のうえ決定すること。
注3）アンカー削孔は既設鉄筋を切断しないよう鉄筋探査等により位置を確認した上で、行うこと。

年　度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	A2橋台パラペット及び橋座嵩上げ配筋図（2／2）	図面番号	9 ／14
設計	設計	縮尺	図示
秋田市　農地森林整備課			

小出沢1号橋　橋台補修図

S=1:50

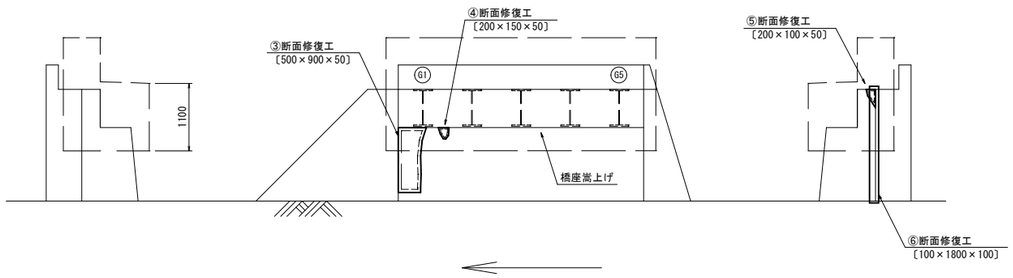
A1橋台



凡 例

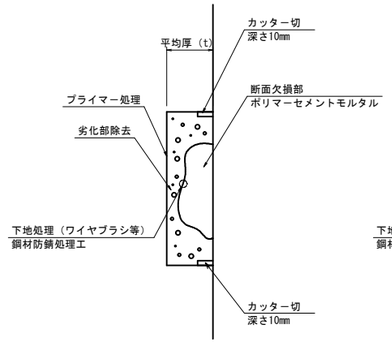
損傷の種類	表　示
ひびわれ	
遊離石灰	
剥　離	
漏　水	
鉄筋露出	
う　き	
そ の 他	

A2橋台

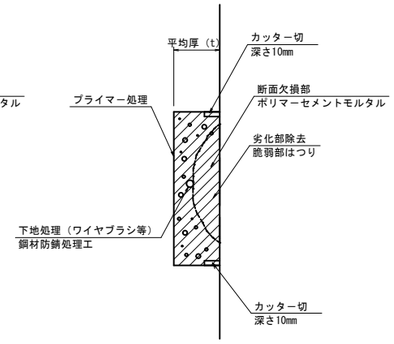


断面修復工法

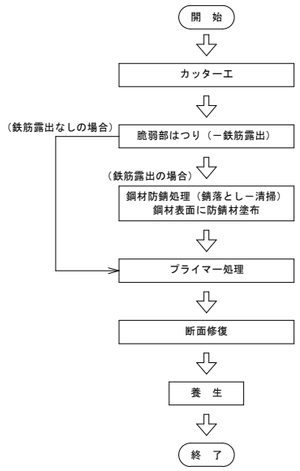
剥離（鉄筋露出）の場合



表面にうきがある場合



施工フロー



断面修復工：左官工法

	算 式	単位	数量	備考
断面修復工 ①	0.20×0.20	m^2	0.040	A1
	0.20×0.20×0.05	m^3	0.0020	
断面修復工 ②	0.10×0.10	m^2	0.010	A1
	0.10×0.10×0.05	m^3	0.0005	
断面修復工 ③	0.50×0.90	m^2	0.450	A2
	0.50×0.90×0.05	m^3	0.0225	
断面修復工 ④	0.20×0.15	m^2	0.030	A2
	0.20×0.15×0.05	m^3	0.0015	
断面修復工 ⑤	0.20×0.10	m^2	0.020	A2
	0.20×0.10×0.05	m^3	0.0010	
断面修復工 ⑥	0.10×1.80	m^2	0.180	A2
	0.10×1.80×0.10	m^3	0.0180	
合　　計		m^2	0.730	
		m^3	0.046	

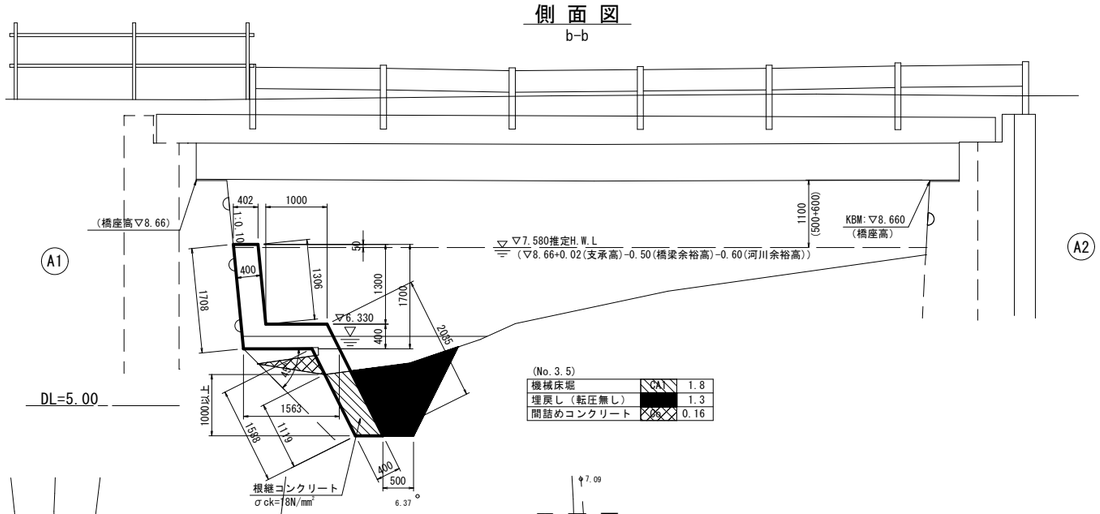
注記）
注1）既設構造寸法は現地計測によるものである。
注2）図中の寸法、数量は、現地検測のうえ決定すること。
（断面修復範囲及び深さは、はつり後の検測により決定すること。）
（⑥のあきが深い場合は、無収縮モルタル等により充填すること。）
注3）橋座嵩上げ及び沓座拡幅は、橋台補修後に行うものとする。
注4）断面修復材は、既設コンクリートの想定設計基準強度
16N/mm²以上を確保すること。

年　度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	小出沢1号橋　橋台補修図	図面番号	10 ／14
設計	設計	縮尺	図示
秋田市　農地森林整備課			

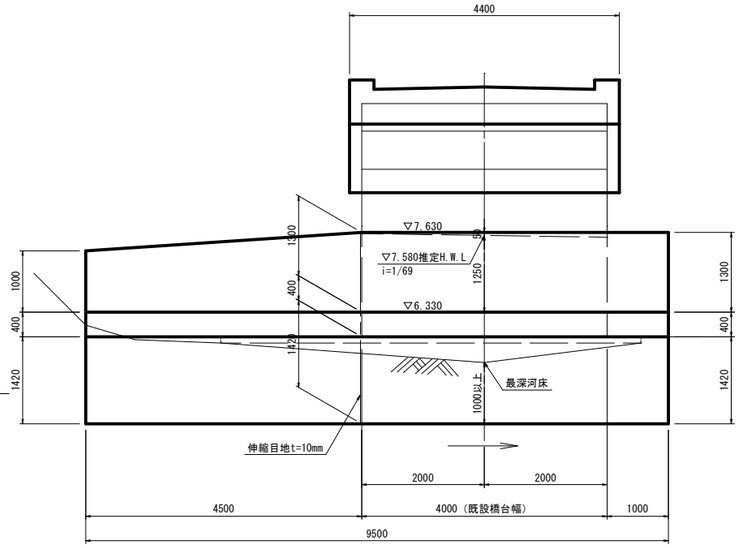
小出沢1号橋　A1橋台洗堀部対策工図

S=1:50

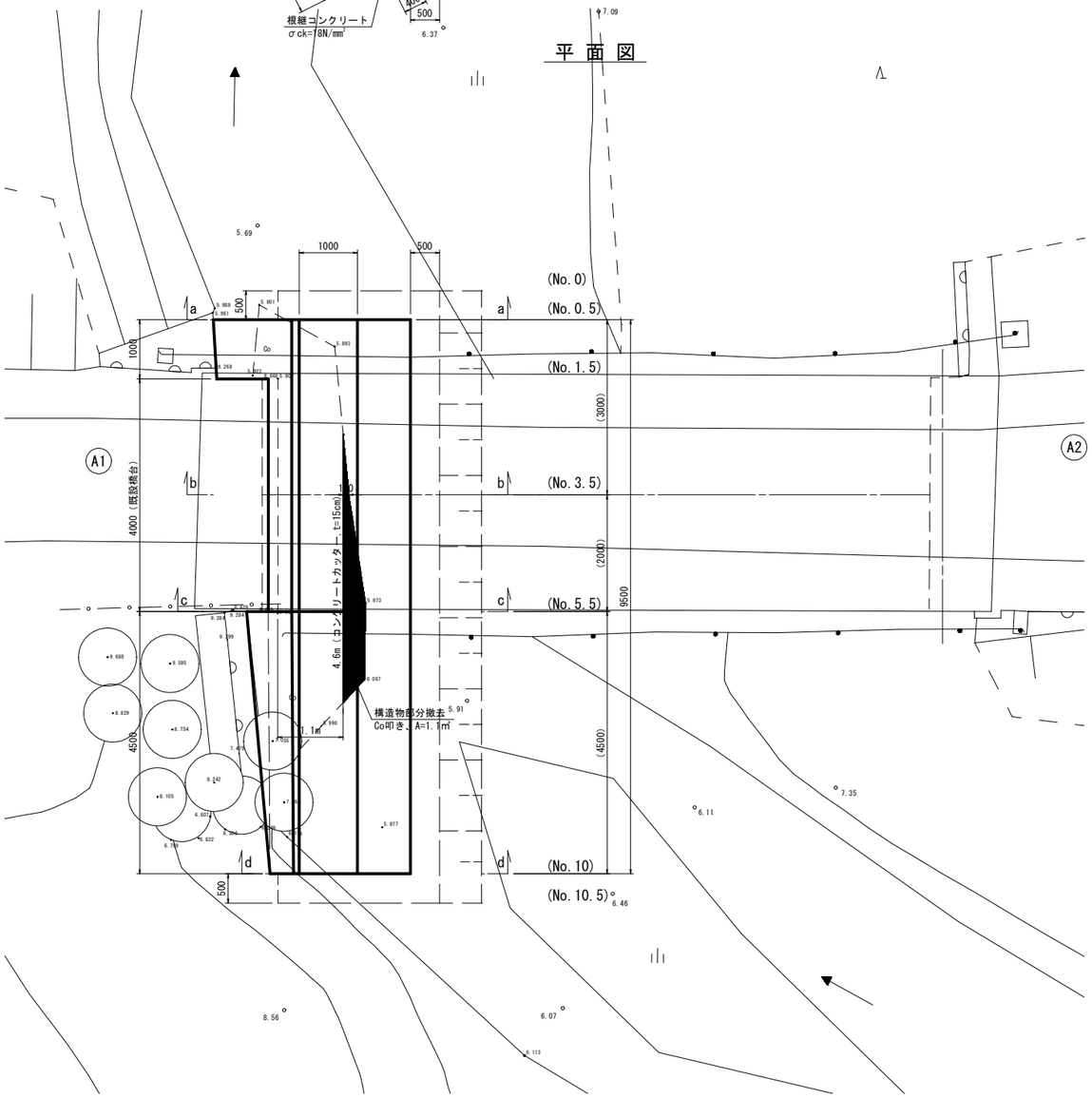
側面図
b-b



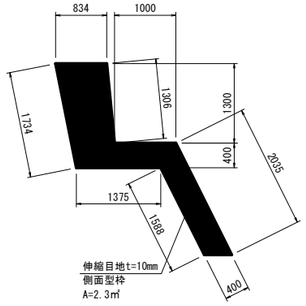
正面図



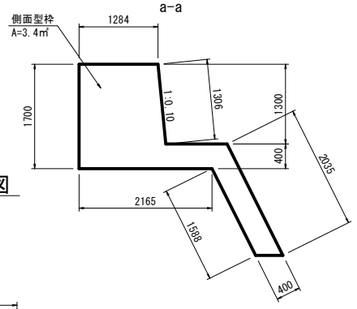
平面図



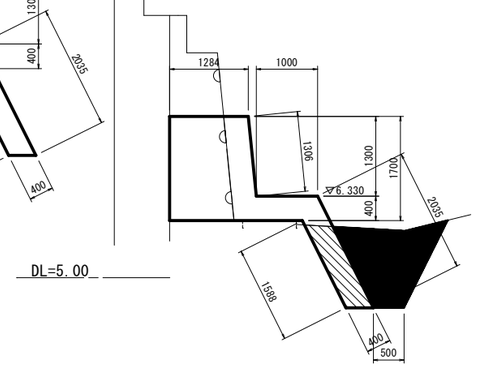
伸縮目地
c-c



側面型枠
a-a



下流側側面図
a-a



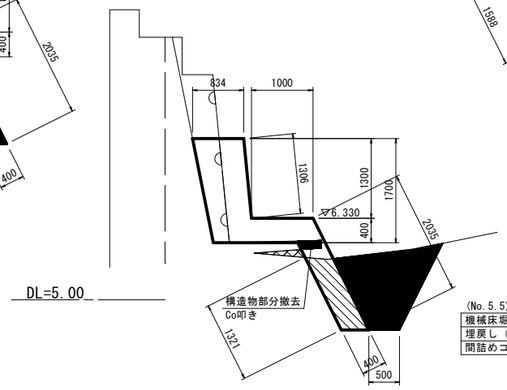
(No.0)

機械床堀	CA1	2.1
埋戻し（転圧無し）		2.1
間詰めコンクリート	Co	-

(No.0.5)

機械床堀	CA1	2.1
埋戻し（転圧無し）		1.5
間詰めコンクリート	Co	-

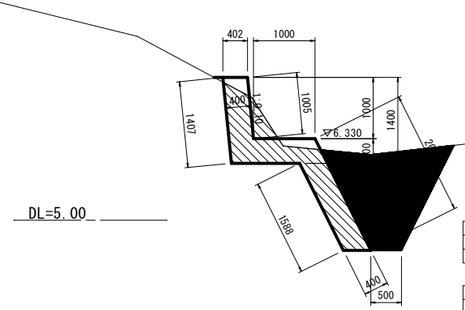
上流側側面図
c-c



(No.5.5)

機械床堀	CA1	2.0
埋戻し（転圧無し）		1.4
間詰めコンクリート	Co	0.05

上流側側面図
d-d



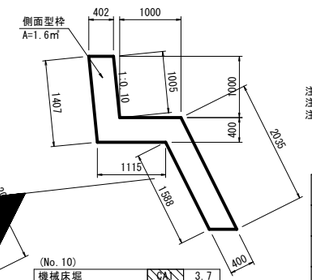
(No.10)

機械床堀	CA1	3.7
埋戻し（転圧無し）		2.1
間詰めコンクリート	Co	-

(No.10.5)

機械床堀	CA1	3.7
埋戻し（転圧無し）		3.7
間詰めコンクリート	Co	-

側面型枠
d-d



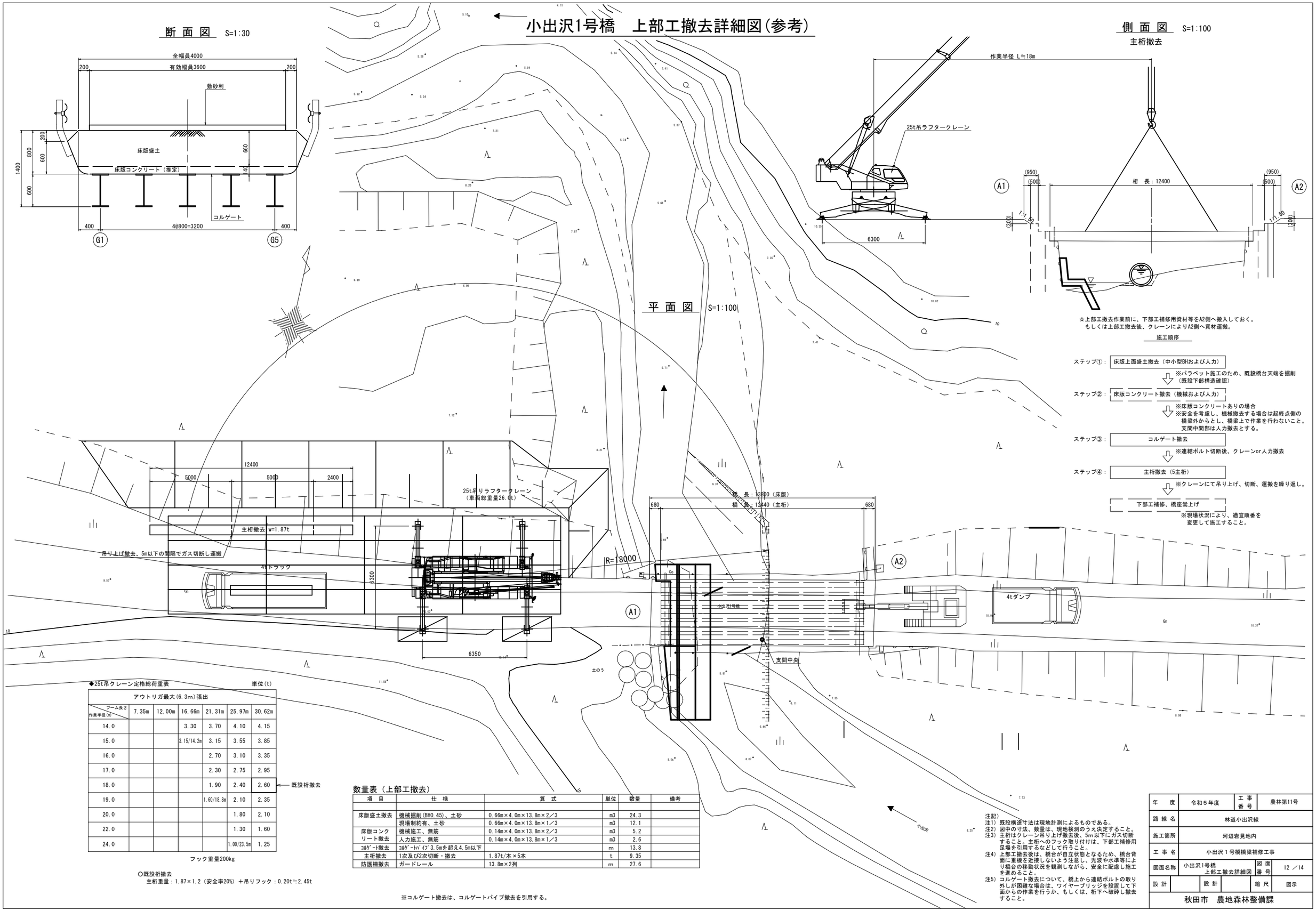
注記)
注1) 既設構造寸法は現地計測によるものである。
注2) 図中の寸法、数量は、現地検測のうえ決定すること。

年度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	小出沢1号橋 A1橋台洗堀部対策工図	図面番号	11 ／14
設計	設計	縮尺	図示
秋田市　農地森林整備課			

小出沢1号橋　上部工撤去詳細図(参考)

断面図 S=1:30

平面図 S=1:100



側面図 S=1:100

主桁撤去

☆上部工撤去作業前に、下部工補修用資材等をA2側へ搬入しておく。
もしくは上部工撤去後、クレーンによりA2側へ資材運搬。

施工順序

ステップ①：床版上面盛土撤去（中小型BHおよび人力）

⇩ ※パラペット施工のため、既設橋台天端を掘削（既設下部構造確認）

ステップ②：床版コンクリート撤去（機械および人力）

⇩ ※床版コンクリートありの場合
※安全を考慮し、機械撤去する場合は起終点側の橋梁外からとし、橋梁上で作業を行わないこと。支間中間部は人力撤去とする。

ステップ③：コルゲート撤去

⇩ ※連結ボルト切断後、クレーンor人力撤去

ステップ④：主桁撤去（5主桁）

⇩ ※クレーンにて吊り上げ、切断、運搬を繰り返し。

下部工補修、橋座嵩上げ

※現場状況により、適宜順番を変更して施工すること。

◆25t吊クレーン定格総荷重表　　単位(t)

アウトリガ最大(6.3m)張出						
作業半径(m) ＼ ブーム長さ	7.35m	12.00m	16.66m	21.31m	25.97m	30.62m
14.0			3.30	3.70	4.10	4.15
15.0			3.15/14.2m	3.15	3.55	3.85
16.0				2.70	3.10	3.35
17.0				2.30	2.75	2.95
18.0				1.90	2.40	2.60 ← 既設桁撤去
19.0				1.60/18.8m	2.10	2.35
20.0					1.80	2.10
22.0					1.30	1.60
24.0					1.00/23.5m	1.25

フック重量200kg

○既設桁撤去
主桁重量：1.87×1.2（安全率20%）＋吊りフック：0.20t≒2.45t

数量表（上部工撤去）

項　目	仕　様	算　式	単位	数量	備考
床版盛土撤去	機械掘削(BH0.45)、土砂	0.66m×4.0m×13.8m×2／3	m3	24.3	
	現場制約有、土砂	0.66m×4.0m×13.8m×1／3	m3	12.1	
床版コンクリート撤去	機械施工、無筋	0.14m×4.0m×13.8m×2／3	m3	5.2	
	人力施工、無筋	0.14m×4.0m×13.8m×1／3	m3	2.6	
ｺﾙｹﾞｰﾄ撤去	ｺﾙｹﾞｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ3.5mを超え4.5m以下		m	13.8	
主桁撤去	1次及び2次切断・撤去	1.87t/本×5本	t	9.35	
防護柵撤去	ガードレール	13.8m×2列	m	27.6	

※コルゲート撤去は、コルゲートパイプ撤去を引用する。

注記）
注1）既設構造寸法は現地計測によるものである。
注2）図中の寸法、数量は、現地検測のうえ決定すること。
注3）主桁はクレーン吊り上げ撤去後、5m以下にガス切断すること。主桁へのフック取り付けは、下部工補修用足場を引用するなどして行うこと。
注4）上部工撤去後は、橋台が自立状態となるため、橋台背面に重機を近接しないよう注意し、光波や水準等により橋台の移動状況を観測しながら、安全に配慮し施工を進めること。
注5）コルゲート撤去について、橋上から連結ボルトの取り外しが困難な場合は、ワイヤーブリッジを設置して下面からの作業を行うか、もしくは、桁下へ破砕し撤去すること。

年　度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	小出沢1号橋 上部工撤去詳細図	図面番号	12 ／14
設計	設計	縮尺	図示
秋田市　農地森林整備課			

小出沢1号橋　仮設工詳細図(参考)

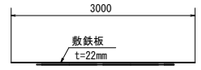
側面図 S=1:100

仮設ヤード

A－A S=1:100

工事用断面図 S=1:50

林道狭隘部断面図 S=1:50



数量表（工事用進入路）

項　目	仕　様	算　式	単位	数量	備考
大型土のう	製作・設置撤去(新規土)		袋	84	
敷き鉄板	1524×6096×t22	3m×21.0m	㎡	63.0	7枚
大型土のう	製作・設置撤去(新規土)		袋	64	
敷き鉄板	1524×6096×t22	3m×16.0m	㎡	48.0	6枚

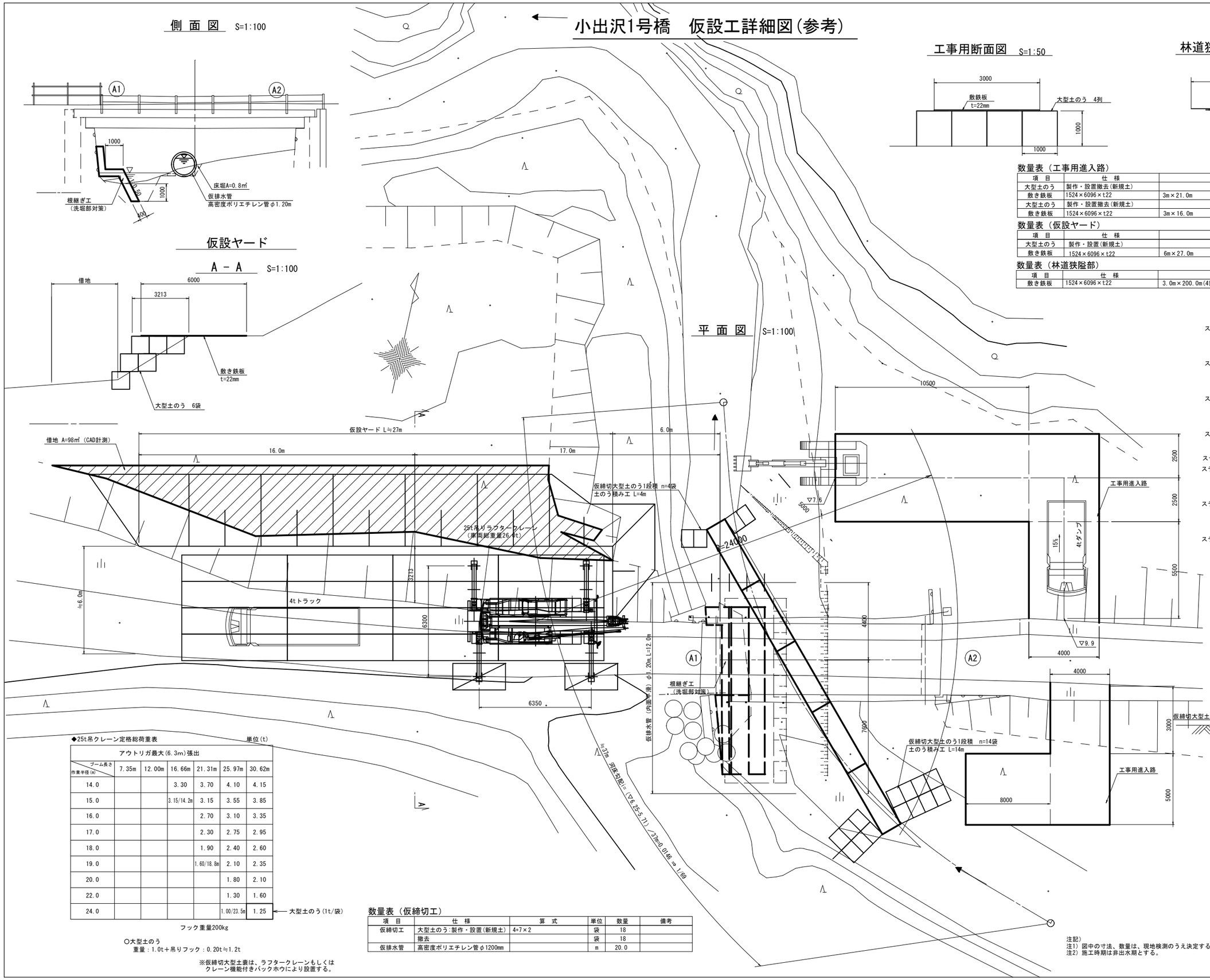
数量表（仮設ヤード）

項　目	仕　様	算　式	単位	数量	備考
大型土のう	製作・設置(新規土)		袋	162	
敷き鉄板	1524×6096×t22	6m×27.0m	㎡	162.0	18枚

数量表（林道狭隘部）

項　目	仕　様	算　式	単位	数量	備考
敷き鉄板	1524×6096×t22	3.0m×200.0m(4箇所)	㎡	600.0	67枚

平面図 S=1:100

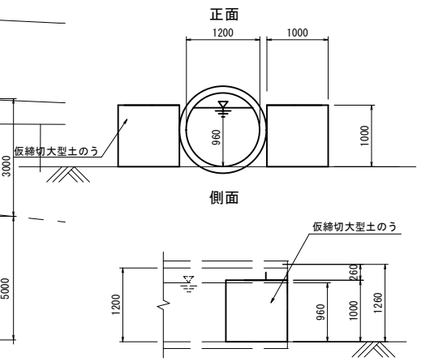


施工順序

ステップ①：交通規制（通行止め）
⇩
ステップ②：工事用進入路
⇩
ステップ③：仮設ヤード
⇩ ※A1下流側
ステップ④：仮締切工（大型土嚢、仮排水管設置）
⇩
ステップ⑤：洗堀部対策（根継工）
ステップ⑤-1：床堀
⇩ 洗堀部対策（根継工）
ステップ⑤-2：型枠⇒コンクリート工⇒養生⇒脱型
⇩ 洗堀部対策（根継工）
ステップ⑤-3：埋戻し
⇩
上部工撤去

※現場状況により、適宜順番を変更して施工すること。

仮排水管渠 呑吐口部 S=1:50



◆25t吊クレーン定格総荷重表　　単位(t)

アウトリガ最大(6.3m)張出						
作業半径(m) ＼ ブーム長さ	7.35m	12.00m	16.66m	21.31m	25.97m	30.62m
14.0			3.30	3.70	4.10	4.15
15.0			3.15/14.2m	3.15	3.55	3.85
16.0				2.70	3.10	3.35
17.0				2.30	2.75	2.95
18.0				1.90	2.40	2.60
19.0				1.60/18.8m	2.10	2.35
20.0					1.80	2.10
22.0					1.30	1.60
24.0					1.00/23.5m	1.25 ← 大型土のう(1t/袋)

フック重量200kg

○大型土のう
重量：1.0t＋吊りフック：0.20t≒1.2t

※仮締切大型土嚢は、ラフタークレーンもしくはクレーン機能付きバックホウにより設置する。

数量表（仮締切工）

項　目	仕　様	算　式	単位	数量	備考
仮締切工	大型土のう:製作・設置(新規土)	4+7×2	袋	18	
	撤去		袋	18	
仮排水管	高密度ポリエチレン管φ1200mm		m	20.0	

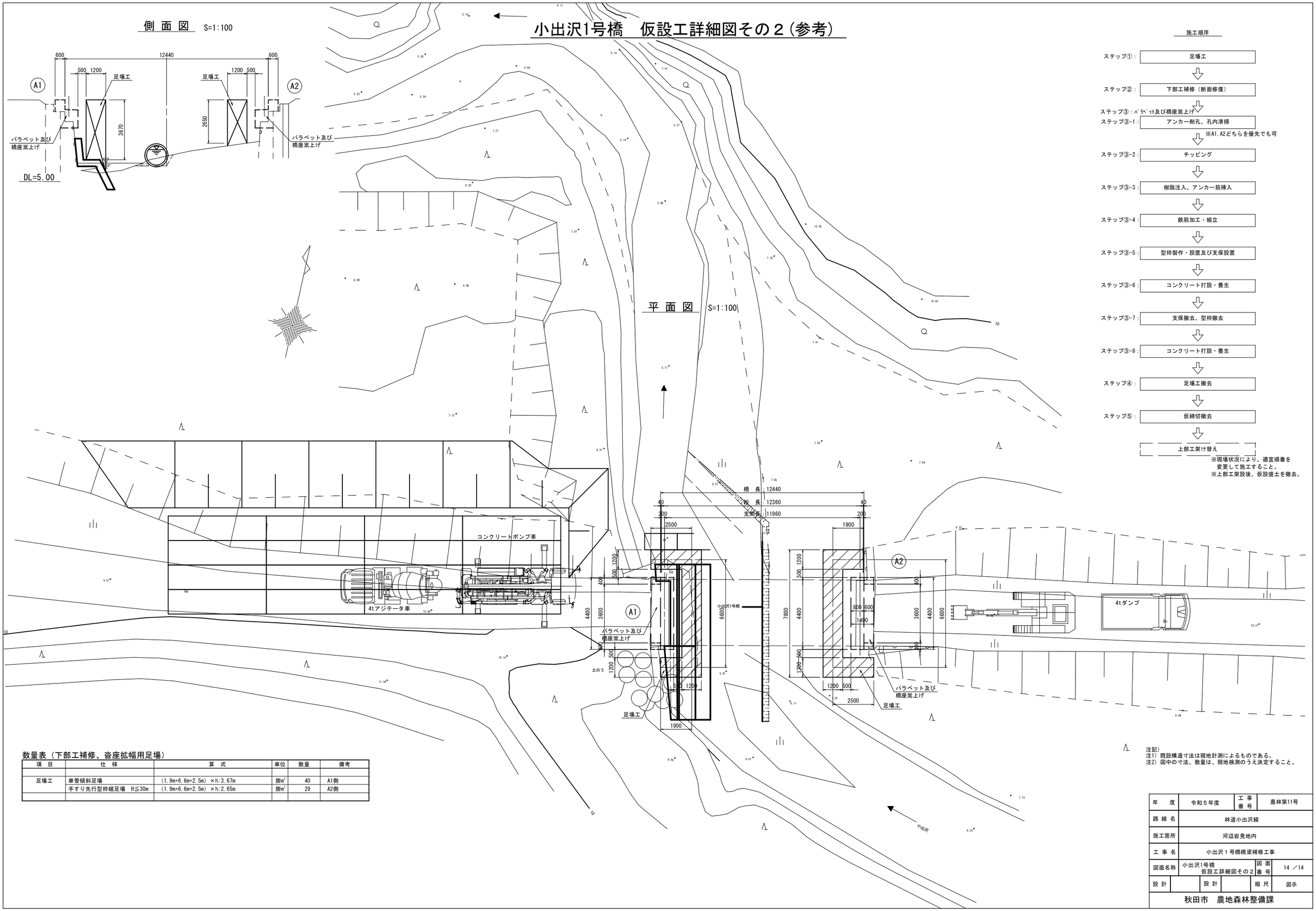
注記)
注1) 図中の寸法、数量は、現地検測のうえ決定すること。
注2) 施工時期は非出水期とする。

年　度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	小出沢1号橋　仮設工詳細図	図面番号	13 ／14
設計	設計	縮尺	図示
秋田市　農地森林整備課			

小出沢1号橋　仮設工詳細図その２（参考）

側 面 図　S=1:100

平 面 図　S=1:100



施工順序

- ステップ①：足場工
- ステップ②：下部工補修（断面修復）
- ステップ③：ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ及び橋座嵩上げ
  - ステップ③-1：アンカー削孔、孔内清掃
  - ※A1,A2どちらを優先でも可
  - ステップ③-2：チッピング
  - ステップ③-3：樹脂注入、アンカー筋挿入
  - ステップ③-4：鉄筋加工・組立
  - ステップ③-5：型枠製作・設置及び支保設置
  - ステップ③-6：コンクリート打設・養生
  - ステップ③-7：支保撤去、型枠撤去
  - ステップ③-8：コンクリート打設・養生
- ステップ④：足場工撤去
- ステップ⑤：仮締切撤去
- 上部工架け替え

※現場状況により、適宜順番を変更して施工すること。
※上部工架設後、仮設盛土を撤去。

数量表（下部工補修、沓座拡幅用足場）

項　目	仕　様	算　式	単位	数量	備考
足場工	単管傾斜足場	(1.9m+6.6m+2.5m) ×h:3.67m	掛m²	40	A1側
	手すり先行型枠組足場　H≦30m	(1.9m+6.6m+2.5m) ×h:2.65m	掛m²	29	A2側

注記）
注1）既設構造寸法は現地計測によるものである。
注2）図中の寸法、数量は、現地検測のうえ決定すること。

年　度	令和５年度	工事番号	農林第11号
路線名	林道小出沢線		
施工箇所	河辺岩見地内		
工事名	小出沢１号橋橋梁補修工事		
図面名称	小出沢1号橋 仮設工詳細図その２	図面番号	14 ／14
設計	設計	縮尺	図示
秋田市　農地森林整備課			

様式１

質問および回答について

１　工事番号　　農林第１１号

２　工事名　　小出沢1号橋橋梁補修工事

３　入札書締切日　　令和　6　年　3　月　22　日（ 金 ）

４　質問・回答

(1) 質　問　　本設計図書に対する質問は、以下のとおり行うものとします。

ア　提出期限　　令和　6　年　3　月　18　日（ 月 ）　午後０時（正午）まで

イ　方法　　入札参加資格を有する者で、質問のある者は、内容を簡潔にまとめ質問書（様式集より）に記入のうえ、電子メールでのファイル添付にて、４(1)エの提出先に提出してください。
なお、口頭や電話での受付は行いません。

また、電子メールでの提出に際し、件名を「質問書」としてください。
当該電子メールにて到着確認のメールを返信しますので、返信がない場合は、速やかに下記の提出先まで連絡してください。

ウ　質問書様式　(工事・委託共通)入札・見積関係様式ページ内【設計図書に対する質問書】

https://www.city.akita.lg.jp/jigyosha/kouzi-nyusatsu-keiyaku/1002629/1010652.html

エ　提出先　　秋田市産業振興部農地森林整備課

[電話]018-888-5741　　[E-Mail]ro-agfr@city.akita.lg.jp

(2) 回　答　　質問への回答は、以下のとおり行うものとします。

ア　回答期限　　令和　6 年　3 月　19 日（ 火 ）

イ　方法　　回答は、質問者の特殊な技術やノウハウ等に関し、質問者の権利、競争性の地位、その他正当な利益を害する恐れのあるものを除き、下記ホームページへ掲載します。
回答では、質問者の企業名等は公表しないものとします。

ホームページ（回答の掲載）
https://www.city.akita.lg.jp/jigyosha/kouzi-nyusatsu-keiyaku/1002625/1010228/index.html